HITACHI
Inspire the Next

# 日立ブルーレイディスクプレーヤー

ディーブイエル　ビーピーティー3000
型式 **DVL-BPT3000**

# 取扱説明書

x.v.Color

BONUS VIEW™

このたびは、日立ブルーレイディスクプレーヤーをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

**保証書について**

- 保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）の記入、納品書や領収書がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証書別添付

# 1. ご使用になる前に

## 1.1 安全上のご注意

**この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。**

### 絵表示について

■この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

### 絵表示の例

△記号は注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

### 絵表示の意味

 ・注意してください。

 ・破裂に注意してください。

 ・絶対に行わないでください。

 ・絶対に触れないでください。

 ・絶対に濡らさないでください。

 ・必ず指示にしたがい、行ってください。

 ・必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 ・高温に注意してください。

 ・絶対に分解/修理はしないでください。

 ・絶対に水場では使用しないでください。

 ・絶対に濡れた手で触れないでください。

 ・指をはさまないよう注意してください。

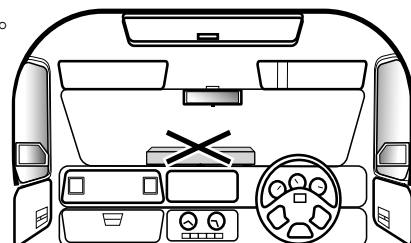
 ・指のケガに注意してください。

 ・手をはさまれないよう注意してください。

### おことわり

• 製品本体やリモコンなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

### ⚠警告　お車の中ではご使用にならないでください

本機は車載用ではありませんので、車の中では使用しないでください。
また、自動車内に放置しないでください。車載で使用した場合、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、**発火、発煙事故**の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、**本機の故障の原因になります。**
市販されている電源コンバーターなどや、お車についているACコンセントを使って本機を使用しないでください。

# 警　告

### 本機や電源コードが異常なとき（煙がでている、異常に熱い、変なにおいがする）は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

使用禁止

プラグを抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お客様による修理は危険ですからお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

### 本機の開口部（通風孔/ディスクトレイなど）から内部に異物をいれない

禁止

■ 金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりすると火災・感電の原因になります。
■ 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

### 本機の上に水などの入った容器を置かない（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）

禁止

■ こぼれて本機の内部に入った場合、火災・感電の原因になります。

### 電源プラグは確実に差し込み、抜き差しが弱くなったものは使用しない

禁止

■ 不完全な差し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因になります。
■ 時々点検をしてください。

### 電源プラグのほこりなどはとる

ほこりをとる

■ 絶縁不良となり火災・感電の原因となります。
■ ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。

### 雷が鳴りだしたら電源プラグにふれない

接触禁止

■ 落雷すると誘導電雷により感電することがあります。

### 本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

使用禁止

水濡れ禁止

プラグを抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。
■ 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

### 本機を水でぬらさない
### 水滴のかかる場所に置かない

水濡れ禁止

水場での使用禁止

■ 海岸・水区や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
■ 風呂場では使用しないでください。
■ 内部に水が入ると火災・感電・故障につながります。

### 本機を指定（表示）された電源電圧（交流100V）　以外で使用しない

交流100V

■ 指定（表示）以外で使用すると火災・感電・故障の原因になります。
■ 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

### 電源コードを正しく使用する
• 束ねない　• 延長・タコ足配線しない
• 固定しない

禁止

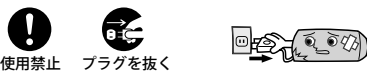
■ 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因になります。
■ タコ足配線すると発熱し火災・故障の原因になります。

### 電源コードを傷つけない
• 破損させない　• 加熱しない　• 引っぱらない
• 加工しない　• 切断しない　• ねじらない
• 曲げない　• 重いものをのせない

禁止

■ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

## 警　　告

### 本機が破損した場合電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

### 電源プラグやコードが傷んでいる場合（刃の曲がり、プラグカバーの傷み、芯線の露出、断線など）は電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

### 電源プラグやコードは乳幼児に触れさせない

■ 電源プラグやコードは小さなお子様の手の届くところに放置しないようご注意ください。
■ 感電の原因となることがあります。

### 本機を改造または分解しない

■ 裏ぶた、キャビネット、カバーははずさないでください。感電の原因になります。
■ 内部の点検・調整・修理は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

### 電源コードを動かすと電源が入ったり切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

■ コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因になります。

### 電源プラグやコードを温度や湿度の高い場所(こたつの中やサウナなど)で使用しない

■ 感電や火災の原因になります。

### 本機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

■ 落ちたり倒れたりしてけがの原因となるため注意してください。

### 本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

■ 故障の原因となることがあります。

### ブルーレイディスク™プレーヤーのピックアップからでるレーザー光線を直接見たり体に浴びない

■ 失明や火傷をするおそれがあります。

## 注　　意

### 電源コードを熱器具に近付けない

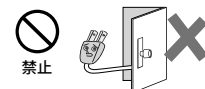
■ コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

### 電源コードを引っ張らない

■ 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

### お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く

■ 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 電源コードを引き回さない

■ 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

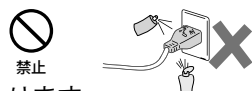
### 濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり水や液体をかけない

■ 水は電気を通しますので感電の恐れがあります。
■ 必ずかわいた手で持ってください。

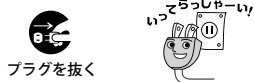
### ガラスドアつきラックに入れたときは、ガラスドアを閉めたままリモコンの[トレイ開閉▲]を押さない

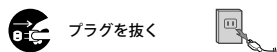
■ 故障の原因になることがあります。

# 注　意

## 電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない

■ 発煙や発火の原因となります。

## 次のような場合、電源プラグをコンセントから抜いておく

- 長時間外出するとき
- 旅行をするとき

■ 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 本機を移動させる場合、電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。
■ ディスクは取り出しておいてください。

## 指や手をはさまれないように注意

■ 小さなお子様がディスクトレイに手を入れないようご注意ください。
■ けがの原因となることがあります。

## 本機の上に重いものを置かない、乗らない

■ バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
■ 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

## 乾電池の取り扱いに注意

- ショートさせない　• 分解・加熱をしない
- 火の中に投入しない

■ 破裂したりする危険があります。

## 指定されていない電池は使用しない

- 新しいものと古いものを混ぜて使わない
- 種類の異なるものを混ぜて使わない

■ 指定以外のものを使用すると破裂・液もれにより火災・けがの原因となることがあります。

## 乾電池は正しく挿入する

- プラス（+）とマイナス（–）の向きを正しく入れる

■ 誤って挿入すると破裂・液もれによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

## 本機を次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多い場所　• 油煙や湯気が当たる場所　• 熱器具の近く　• テレビの近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ
- アンプなど熱を発生するオーディオ機器の近く

■ 発熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。

## 1年に一度くらいは本機内部の掃除を依頼する

■ 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
■ 内部の掃除やその費用については、お買い求めの販売店にご相談ください。

## 本機の通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない

■ 内部に熱がこもり火災の原因になります。

## 海水や塩害に注意

■ 海辺にお住まいのかたは窓からの海水や塩害に注意してください。

## ディスク再生中は本機を絶対に動かさない

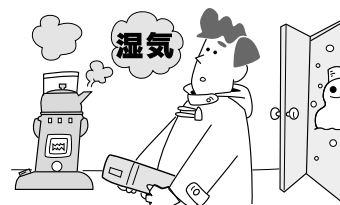
■ 再生中はディスクが高速回転していますので、本機を動かすと、中のディスクを傷つけたり、破損するおそれがあります。

## 1.2　使用上のご注意

### ■ 結露（つゆつき）について

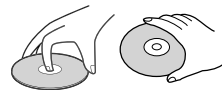
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを結露（つゆつき）とよびます。

本機を…

- 寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき。
- 暖房を始めたばかりの部屋で操作するとき。
- 湿気の多いところで使うとき。
- エアコンのそばなど、直接冷風の当たる場所で使うとき。

など、内部で結露が起こったり、内部のレンズにつゆ（水滴）がつき、正しく動作しないことがあります。このようなときは、電源プラグを抜いて、湿気がなくなるまで操作しないでください。乾燥すると、正常に動作するようになります。

- 結露が起こりそうなときは、よく乾燥させてからお使いください。
  本機を移動させたあとなどはすぐに使用せずしばらく乾燥のため放置して、
  湿気がなくなるまで操作しないでください。

### ■ ディスクの取り扱い

- 再生面に触れないようにディスクの端を持ってください。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かない。
- 使用後は、所定のケースに入れて、保管してください。ケースにいれずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。
- 指紋やホコリによりディスクが汚れた場合や、キズがついた場合には再生することができなくなりますので汚れやキズをつけないでください。
- お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外のほうへ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジン、レコードクリーナー、静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 本機で使用できるディスクについては、☞ 25 ページをご覧ください。

### ■ 本機の取り扱い

- 高温状態をさけてください。

  持ち運びの際、窓を閉めきった自動車の中など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
- 本体後面にあるファンや通風孔をふさがないでください。ファンや通風孔をふさぐと放熱の妨げとなり、故障の原因となります。
- 本機をご使用中、使用環境によっては本体やキャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してご使用ください。
- 砂に注意しましょう。砂浜や砂ぼこりの多いところでは使用しないでください。
- 携帯電話、トランシーバーなどの強い電波を発生するものの近くに置かないでください。

  電波の影響で本機が動かなくなります。
- テレビの近くに置くと、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。このような場合は、テレビから離してください。
- ご使用にならないときは、必ず[**停止 ■**]を押してからディスクを取り出し、電源を切ってください。

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて作動させてください。
- 国外では使えません。
本機は日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
（This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.）
- タテ置きではご使用できません。

■ その他のご注意

- 本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、映像または、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。
- 次のような場合に、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、テレビと本機を離してください。
  - 本機の上に、テレビを直接置いたとき。
  - テレビの上に、本機を直接置いたとき。

■ レーザーピックアップについて

- この取扱説明書の該当部分と「故障かな？と思ったときは」をお読みになり、操作を行っても本機が正常に動作しない場合は、レーザーピックアップが汚れている可能性があります。修理については、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。（☞ 67 ページ）
- 本機の近くで、エアコンクリーナー、ヘアスプレー、殺虫剤等を使用した場合、その成分がレーザーピックアップのレンズに付着し正常に動作しなくなることがありますので、本機の近くでは使用しないようご注意ください。

■ 本機やリモコンのお手入れ

- ベンジン、シンナーなどでふかないでください。
キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。アルコール/ベンジン/シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんは使わないでください。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。
- お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

■ リモコンの取り扱い

- 乾電池の交換時期
リモコンで操作できる距離が短くなってきた場合は、乾電池が消耗しています。２本共に新品に交換し、新旧をまぜて使用することは避けてください。付属の乾電池は動作確認用のため、通常より寿命が短い場合があります。
- リモコン保管時のご注意
長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。

■ 修理について

- 本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。
電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 1.3　付属品について

- リモコン
- 単3形乾電池（動作確認用）
- 映像/音声ケーブル (約1.0m)
- 取扱説明書（本書）
- クイックガイド

## 1.4　商標について

| | |
|---|---|
| DOLBY TRUE HD DIGITAL PLUS | ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。 |
| dts-HD® Master Audio \| Essential | DTSは、DTS, Inc.の登録商標です。DTS-HD Master Audio I Essential は、DTS, Inc.の商標です。Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS-HD, the Symbol, & DTS-HD and the Symbol together are registered trademarks & DTS-HD Master Audio \| Essential is a trademark of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved. |
| HDMI® HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE | HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。 |
| x.v.Color | “x.v.Color”および“x.v.Color”ロゴは、ソニー株式会社の商標です。 |
| Java™ POWERED | OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。 |
| AVCHD™ | “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。 |
| DVD VIDEO | DVDロゴはDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。 |
| Blu-ray Disc™ | Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク）、Blu-ray™（ブルーレイ）、Blu-ray 3D™、BD-Live™、BONUSVIEW™、AVCREC™及び関連ロゴはブルーレイディスクアソシエーションの商標です。 |
| Blu-ray 3D™ | |
| BD LIVE™ | |
| BONUS VIEW™ | |
| AVCREC™ | |

## 1.5　取扱説明書の見かた

### ■ アイコンについて

それぞれの機能に対応しているメディアを下記のアイコンで表記しています。アイコンは、各説明項目の見出し下部に記載しています。

| アイコン | 説明 |
|---|---|
| BD ビデオ | BDビデオディスク、またはBDMVモードで記録されたBD-RE（ver.2.1）/ BD-R（ver.1.1/1.2/1.3）で楽しめる機能を表します。 |
| BD BDAVモード | BDAVモードで記録されたBD-RE（ver.2.1）/ BD-R（ver.1.1/1.2/1.3）で楽しめる機能を表します。 |
| DVD ビデオ | DVDビデオディスク、またはビデオモードで記録されたDVD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。 |
| DVD -RW/-R VRモード | VRモードで記録されたDVD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。 |
| DVD -RW/-R AVCRECモード | AVCREC™モードで記録されたDVD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。 |
| CD | 音楽用CDまたはDTS-CDで楽しめる機能を表します。 |
| AVCHD | AVCHDファイルが記録されたDVD-RW/-RまたはUSBメモリーで楽しめる機能を表します。 |
| JPEG | JPEGファイルが記録されたBD-RE/-R、DVD-RW/-R、CD-RW/-RまたはUSBメモリーで楽しめる機能を表します。 |

※ アイコン表記のない機能に関しては、すべてのメディアが対応しています。

### ■ ホーム画面からの操作手順について

ホーム画面からの操作手順を以下のように簡略化しています。

例）“BD視聴制限”の項目を設定する場合：

| [ホーム]　→　“本機設定”　→　“再生設定”　→　“BD視聴制限” |
|---|

実際の手順：

**1.　[ホーム]を押し、ホーム画面を表示する**

**2.　[◀ / ▶]で“本機設定”を選び、[決定]を押す**

**3.　[▲ / ▼]で“再生設定”を選び、[決定]を押す**

**4.　[▲ / ▼]で“BD視聴制限”を選び、[決定]を押す**

## 1.6 もくじ

# 2. 本機の特徴

## ブルーレイディスク™

DVD約５枚分の大容量記録媒体、ブルーレイディスク™の再生をお楽しみいただけます。

## ブルーレイ3D™ディスクの再生

本機はブルーレイ3D™ディスクの再生ができます。3Dの映像を楽しむには、High Speed対応のHDMIケーブルを使って、3D対応のテレビに接続してください。

## BD-Java

Javaアプリケーション（BD-J）を含むBDビデオでは、本編の視聴に加え、ゲームや対話型コンテンツ等、インタラクティブな機能を楽しむことができます。

## 1080pアップスケーリング

DVDの再生では、アップコンバート機能によって、標準解像度の画像を最大1080pまでアップスケール処理できる高詳細化を実現しました。

## 対応メディア

DVD約５枚分の大容量記録媒体、ブルーレイディスク™の再生をお楽しみいただけます。ブルーレイディスク™に加え、DVDや音楽用CD、USBメモリーの再生もお楽しみいただけます

## マルチチャンネルサラウンド音声

本機では、より現実に近い音声を楽しめるマルチチャンネルサラウンド音声出力に対応しています。

## HDMIケーブルでハイビジョンテレビに簡単接続

お持ちのテレビがフルHD対応の場合、ハイビジョン高画質映像をお楽しみいただくには、HDMI端子で接続いただくことをおすすめします。HDMI端子は映像と音声の両方を兼ねており、１本のケーブルで簡単に接続ができるので、お使いのアンプ等のオーディオシステムも簡単に接続することができます。（HDMIケーブルは、HDMIロゴ（HDMI®）の表示があるケーブルをお使いください。）

## Woooリンク制御 （HDMI機器制御）

当社製テレビと本機をHDMI端子を使ってつなぐと、本機の動作とテレビの動作を連動して行える"Woooリンク制御"が使えます。（Woooリンク制御対応品に限ります。）
詳しくは"Woooリンク制御"(☞ 49 ページ）をご覧ください。

## PIP：ピクチャー・イン・ピクチャー（BONUSVIEW™）

PIP機能に対応したBDビデオの再生では、セカンダリ映像を含むシーンで**[PIP]**を押すと、セカンダリ映像を別画面で表示させることができます。

## BD-Live™

本機は、BD-Live™（BD-ROMプロファイル2.0）に対応しています。BD-Live™機能を利用する際は、本機をインターネットに接続する必要があります。（BD-Live™機能で利用できるコンテンツは、ディスクによって異なります。）

## ポップアップメニュー

ポップアップメニューが含まれたブルーレイディスク™では、再生中に**[ポップメニュー/メニュー]**を押すと再生画面上で様々な操作ができるポップアップメニューが表示されます。（ポップアップメニューの内容は、ディスクによって異なります。）

## HDMIディープカラー

お使いのテレビがHDMIディープカラーに対応している場合、再生映像の色深度（ディープカラー）を拡張して出力し、より自然に近い色を再現することができます。設定方法については、“ディープカラー”（☞ 44 ページ）をご覧ください。

## 1080プログレッシブ24フレーム

お持ちのテレビが1080プログレッシブ24フレームに対応している場合、ブルーレイディスク™では、1080プログレッシブ24フレームとしてフィルム素材（1秒間に24フレームで撮影）を記録した高品質でより自然に近い映像を楽しむことができます。1080プログレッシブ24フレームをお楽しみいただくには、“解像度設定”を“1080p/24”または“自動”に設定してください。（☞ 50 ページ）

## USBメモリー

USBメモリーに記録されたJPEGファイルや、SDメモリーカードなどに記録されたAVCHDファイルをUSB端子付きのカードリーダーなどで接続し、再生することができます。 また、BD-Live™機能やBONUSVIEW™機能に対応したBDビデオの再生では、PIPや字幕など、追加コンテンツをUSBメモリーに保存すれば、より多くの再生機能を楽しむことができます。

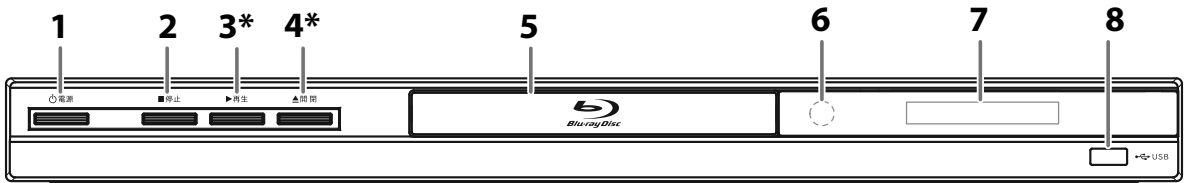
## AVCHD

ハイビジョン映像をビデオカメラの撮影で記録できるフォーマット規格「AVCHD」の再生が可能です。AVCHDは、DVD-RW/-Rに記録されたもの、またはSDメモリーカードなどに記録されたものをUSB端子付きのカードリーダーなどで接続し、再生することができます。

## x.v.Color

“x.v.Color”で撮影した映像を再生することができます。“x.v.Color”の色空間、より天然に近い広色域の映像をお楽しみいただくためには、High Speed対応HDMIケーブルで“x.v.Color”対応のテレビに接続し、設定を行う必要があります。（詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。）

# 3. 各部の名称とはたらき

## 3.1 前面

(*) の記されているボタンを押しても、電源を入れることができます。

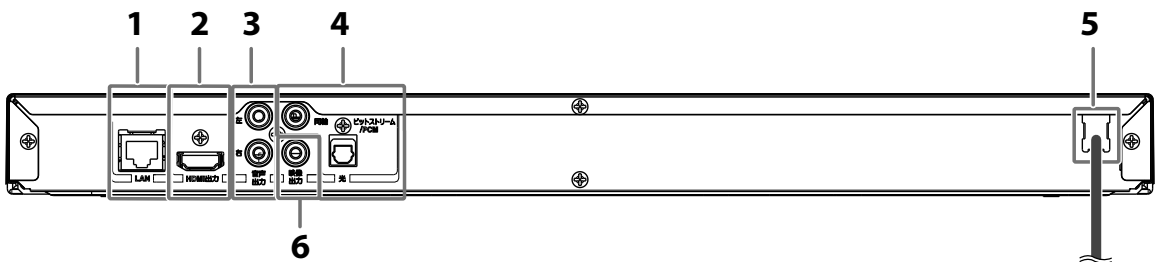
1. ⏻ 電源ボタン

   電源を「入」、または本機をスタンバイ状態にします。（本機の電源を完全に切るには、電源プラグを抜いてください。）

2. ■ 停止 ボタン
3. ▶ 再生 ボタン*
4. ⏏ 開閉 ボタン*
5. ディスクトレイ
6. リモコン受光部
7. 表示部
   - “本体表示部”を参照してください。（☞16ページ）
8. USB端子

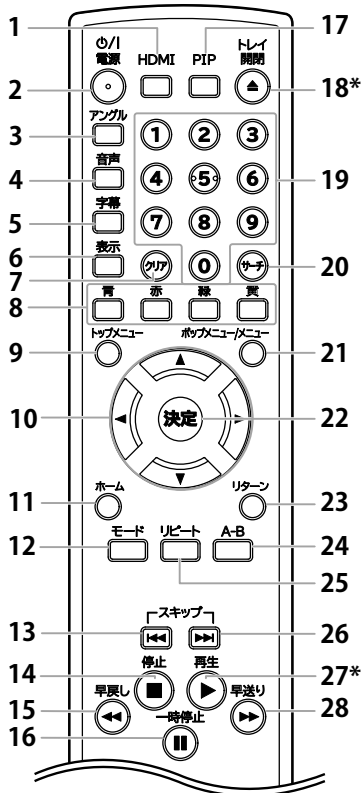
### お知らせ

- 本機は5分間の無操作状態で自動的にスクリーンセーバーを起動させ、30分間の無操作状態で自動的にスタンバイ状態に入ります。

## 3.2 後面

1. LAN端子
2. HDMI出力端子
3. 音声出力端子
4. ビットストリーム/PCM（光/同軸）（デジタル音声出力端子）
5. 電源コード（約1.5 m）
6. 映像出力端子

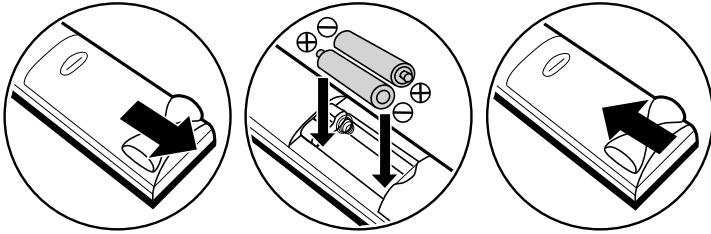
### ご注意

- 端子内部のピンには絶対に触れないでください。静電気を引き起こし、故障の原因になることがあります。

## 3.3 リモコン

(*) の記されているボタンを押しても、電源を入れることができます。

1. **HDMIボタン**
   HDMI解像度を切り換えます。
2. **⏻ / I 電源 ボタン**
   電源を「入」、または本機をスタンバイ状態にします。（本機の電源を完全に切るには、電源プラグを抜いてください。）
3. **アングルボタン**
   複数のカメラアングルによる映像が記録されているディスクの再生中、アングルを切り換えます。
4. **音声ボタン**
   音声設定画面を表示します。
5. **字幕ボタン**
   字幕設定画面を表示します。
6. **表示ボタン**
   再生中のメディアに関する情報を画面表示します。
7. **クリアボタン**
   入力した情報を消去する場合などに使用します。
8. **青/赤/緑/黄ボタン**
   ブルーレイディスク™コンテンツ内のアイテムを選択するときに使用します。
   タイトルリストやファイルリストを表示中、ページを切り換えます。
9. **トップメニューボタン**
   トップメニューを表示します。
10. **カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶**
    アイテムや設定を選択します。
11. **ホームボタン**
    ホーム画面を表示します。
12. **モードボタン**
    ブルーレイディスク™、BDAV、DVD、DVD-VR、AVCREC™、CD、またはAVCHDの再生時、再生メニューを表示します。
13. **スキップ |◀◀ボタン**
    再生中、一度押すことで再生しているタイトル、チャプター、トラック、またはファイルの始めに戻ります。
    再生中、二度押すことで一つ前のタイトル、チャプター、トラック、またはファイルに戻ります。
    JPEGの再生中、一つ前のファイルに戻ります。
14. **停止 ■ボタン**
    再生を停止します。
15. **早戻し ◀◀ ボタン**
    再生中に早戻しをします。
16. **一時停止❚❚ボタン**
    再生を一時停止します。
17. **PIPボタン**
    PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）機能を持つBDビデオの再生時、PIPの設定画面を表示します。
18. **トレイ 開閉 ⏏ ボタン***
    ディスクトレイを開閉します。
    電源が「切」の場合は、電源を「入」にします。
19. **数字ボタン（0〜9）**
    タイトル、チャプター、トラック、またはファイル番号を入力します。
    数値を入力します。
20. **サーチボタン**
    サーチメニュー画面を表示します。
21. **ポップメニュー/メニューボタン**
    ポップアップメニューやディスクメニューを表示します。
22. **決定ボタン**
    設定を決定したり、メニュー画面で項目を選択します。
23. **リターンボタン**
    一つ前の設定画面に戻ります。
24. **A-Bボタン**
    A-Bリピートを設定します。
25. **リピートボタン**
    リピート設定画面を表示します。
26. **スキップ ▶▶|ボタン**
    再生中、次のタイトル、チャプター、トラック、またはファイルにスキップします。
    一時停止中、押すたびに 1 コマずつ再生します。
27. **再生 ▶ ボタン***
    再生またはリジューム再生します。
    電源が「切」の場合は、電源を「入」にします。
28. **早送り ▶▶ ボタン**
    再生中に早送りをします。
    一時停止中にスロー再生をします。

## ■ リモコン電池の入れかた

単３形乾電池(1.5V)をリモコンの乾電池収納部に入れます。

1. ふたをはずす
2. 電池を乾電池収納部の表示通り正しく入れる
3. ふたを元通りにする

## リモコンと乾電池についてのご注意

- リモコンに液状のものをかけないようにしてください。
- リモコンを落とさないようにしてください。
- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。（※付属の乾電池は動作確認用です。）
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。

## アルカリ乾電池ご使用のご注意

アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

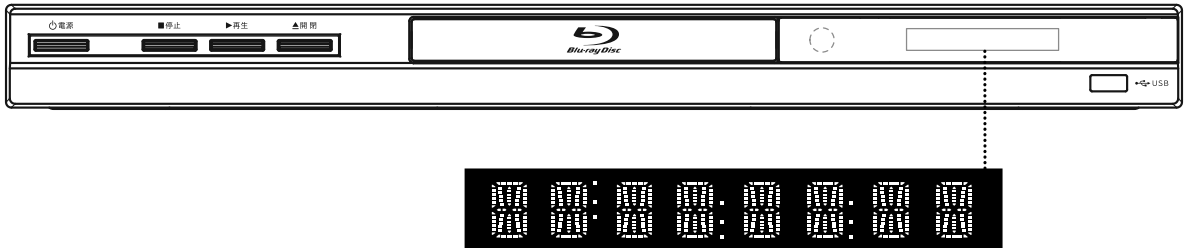
## ■ リモコンの操作方法

以下の点に注意してリモコンをご使用ください。

- リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。
- 日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に当たっている場合、リモコンが動作しないことがあります。
- 違う電子機器のリモコンが、それぞれのリモコン操作の妨げとなる場合があります。
- ほかの電子機器のリモコンを本機の近くで使用しないようにしてください。
- リモコンの受信許容範囲内でご使用ください。

（正面） : 約７m 以内
（左右） : 約30°の範囲で、約５m 以内
（上） : 約15°の範囲で、約５m 以内
（下） : 約30°の範囲で、約３m 以内

## 3.4 本体表示部

本体表示部には現在の再生状況や情報が表示されます。（例: 再生経過時間、入力モード、リピートタイプ、画面タイプなど。）

* 本体表示部の明るさは設定メニューの、“本体表示部調整”で調整することができます。（☞ 45 ページ）

一般表示：

| 表示例 | 表示条件 | 表示例 | 表示条件 |
|---|---|---|---|
| HELLO | 電源を入れたとき | NO DISC | ディスクなしでディスクトレイが閉じられたとき |
| GOODBYE | 電源を切ったとき | SETUP | 本機設定画面の表示中 |
| HOME | ホーム画面表示中 | MENU | ディスクメニューなど表示中 |
| LOADING | ディスクロード中 | 00 1:23 | 再生中や停止中に再生経過時間を表示 |

挿入されたメディアの種類を表示：

| 表示例 | 表示条件 | 表示例 | 表示条件 |
|---|---|---|---|
| BD-V | BDビデオが挿入されたとき | CD-DA | 音楽用CDが挿入されたとき |
| BD-AV | BDAVが挿入されたとき | DATA | データファイルが記録されたメディアが挿入されたとき |
| DVD-V | DVDビデオが挿入されたとき | | |

ファイルの種類を表示：

データファイルが記録されたメディアを挿入した際に、ファイルの種類を自動認識し表示します。

| 表示例 | 表示条件 | 表示例 | 表示条件 |
|---|---|---|---|
| MUSIC | 音楽用CDが認識された場合 | AVCHD | AVCHDファイルが認識された場合 |
| PHOTO | JPEGファイルが認識された場合 | AVCREC | AVCREC™ファイルが認識された場合 |

リピートの種類を表示：

| 表示例 | モード | 表示例 | モード |
|---|---|---|---|
| OFF | リピート無効 | GROUP | グループリピート中 |
| CHAPTER | チャプターリピート中 | TRACK | トラックリピート中 |
| TITLE | タイトルリピート中 | RANDOM | ランダムリピート中 |
| ALL | オールリピート中 | | |

## 3.5　画面表示

### ■ ホーム画面

本機の電源を入れるとホーム画面が自動的に表示されます。表示されない場合は[**ホーム**]を押してください。

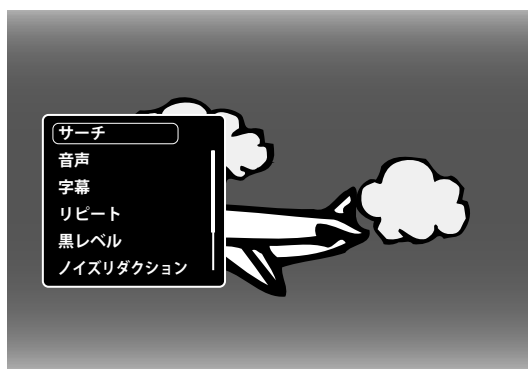
“ディスク” : ディスクの再生を行います。
“USB” : USBメモリー内の再生を行います。
“本機設定” : 設定メニューを表示します。

### ■ 設定メニュー

1. **設定項目**
2. **設定内容**

### ■ 再生メニュー

再生メニューは再生中に[**モード**]を押すと表示されます。

例) ブルーレイディスク™

# 4. 接続

本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。

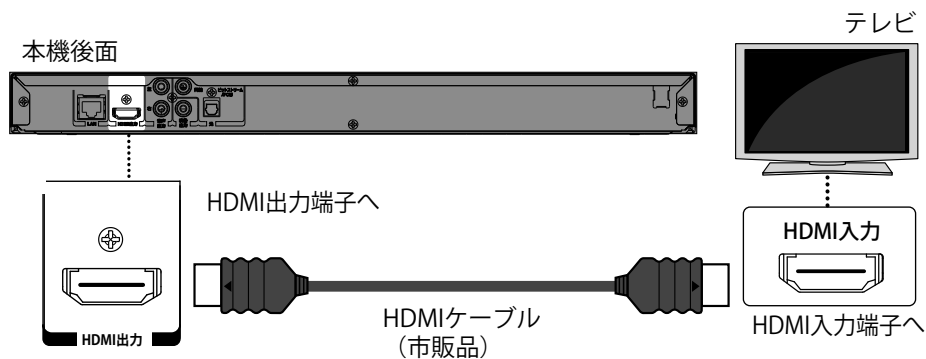
接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。

接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

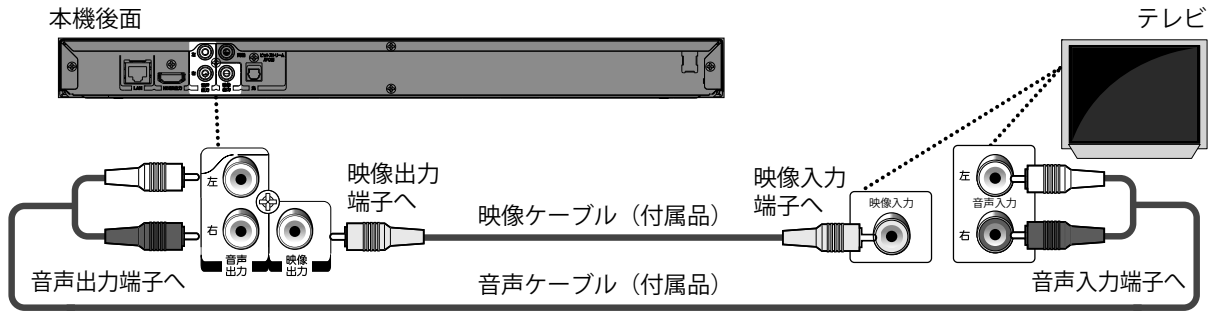
## 4.1 テレビとの接続

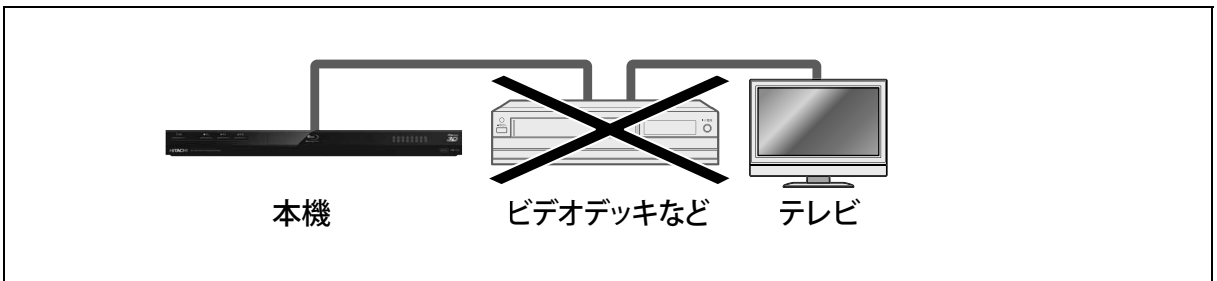
本機と接続する機器の背面などにある、映像や音声の入力端子をご確認ください。映像をよりきれいにご覧いただいたり、ハイビジョン映像をそのまままきれいな画質でお楽しみいただくには、HDMI入力に対応しているテレビ、モニターやプロジェクターが必要になります。**接続する機器がHDMI入力に対応しているときは、HDMI端子につなぐことをおすすめします。**

### ■ HDMI入力端子付きテレビに接続する場合

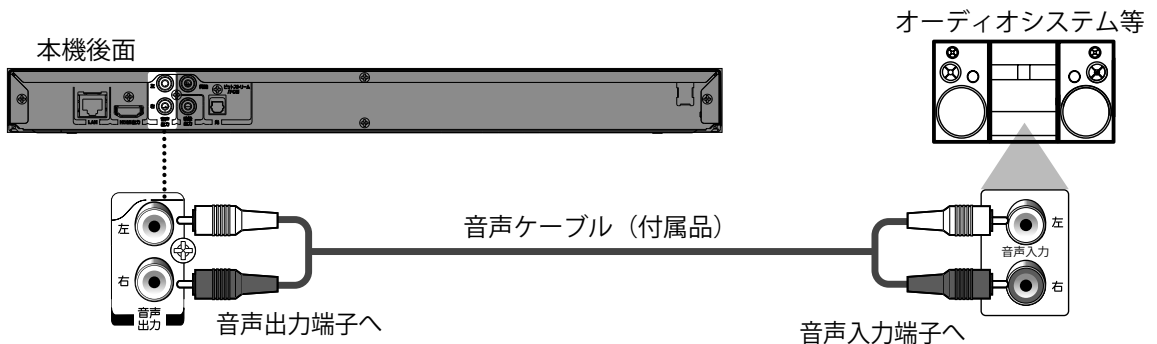
本機のHDMI出力端子とテレビのHDMI入力端子を市販のHDMIケーブルでつなぎます。
HDMI端子は、映像と音声の両方を兼ねているので、接続が 1 本のケーブルで済みます。

- 当社製テレビと本機をHDMI端子を使ってつなぐと、本機の動作とテレビの動作を連動して行える“Woooリンク制御”が使えます。（Woooリンク制御対応品に限ります。）詳しくは“Woooリンク制御”（☞ 49 ページ）をご覧ください。
- 接続の際は、端子の形と方向を確かめ正しい方向でまっすぐ接続してください。
- お使いのテレビがHDCP非対応の場合、映像が正しく出力されない場合があります。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ（HDMI®）の表示があるケーブルをお使いください。
- ブルーレイ3D™ビデオを楽しむには、本機を3D対応テレビにHigh Speed対応HDMIケーブルを使って接続してください。

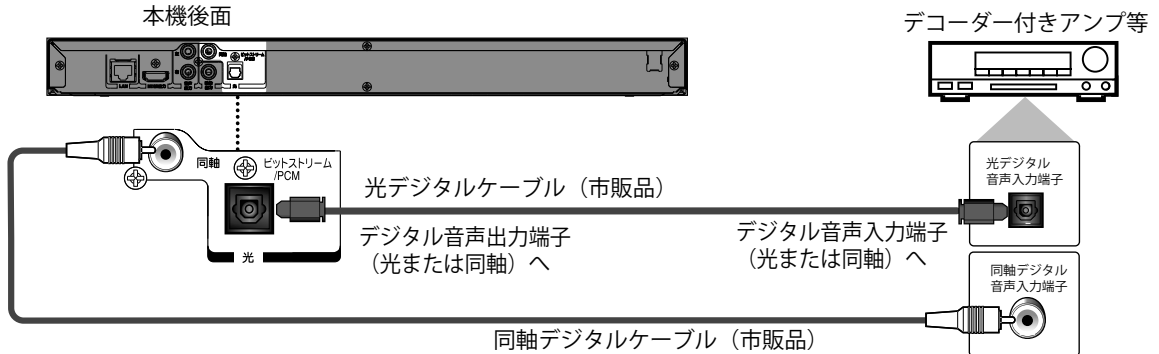
## ■ 映像・音声入力端子付きテレビに接続する場合

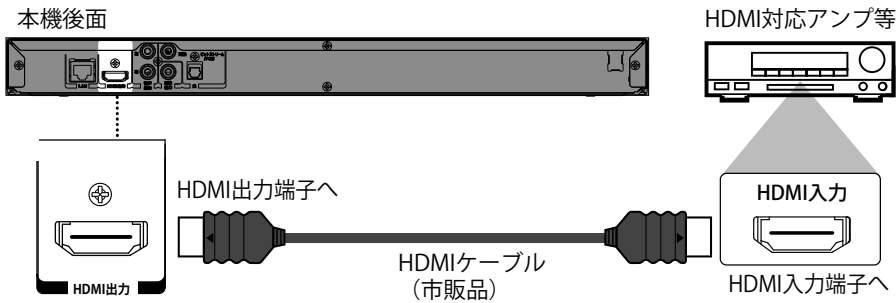
本機の映像・音声出力端子とテレビの映像・音声入力端子を、付属の映像/音声ケーブルでつなぎます。

### ご注意

- 本機の映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピーガード機能によって正常な映像にならないことがあります。

## 4.2 オーディオシステムとの接続

### ■ アナログ 2 チャンネル音声入力端子付きオーディオ機器に接続する場合

本機の音声出力端子とお使いのオーディオ機器の音声入力端子を付属の音声ケーブルでつなぎます。

## ■ デジタル音声入力端子付きアンプやドルビーデジタルまたはDTS対応デコーダー付アンプに接続する場合

本機のデジタル音声出力端子 （光または同軸）とお使いのアンプのデジタル音声入力端子 （光または同軸）を、光デジタルケーブル（市販品）または同軸デジタルケーブル（市販品）でつなぎます。ドルビーデジタルデコーダーまたはDTSデコーダー内蔵のアンプに接続することで、ドルビーデジタルやDTS®の音声が収録されたディスクの再生時に、迫力と臨場感あふれるサラウンド音声をお楽しみいただけます。デジタル音声出力の設定については、“デジタル音声出力端子(光/同軸)からの音声信号” (☞ 21 ページ)をご覧ください。

## ■ HDMI入力端子付きオーディオ機器に接続する場合

本機のHDMI出力端子とオーディオ機器のHDMI入力端子を市販のHDMIケーブルでつなぎます。HDMI出力の音声設定については、“HDMI出力端子からの音声信号”（☞ 22 ページ）をご覧ください。

## ■ デジタル音声出力端子（光/同軸）からの音声信号

“HDMI設定”の“音声出力設定”を“切”に設定している場合に、以下の通りの音声がデジタル音声出力端子（光/同軸）から出力されます。

<table>
<tr><th rowspan="3">メディア</th><th rowspan="3">音楽記録方式</th><th colspan="4">“デジタル音声出力”</th></tr>
<tr><th colspan="2">“ビットストリーム”</th><th colspan="2">“LPCM”</th></tr>
<tr><th>“BD-HD音声設定”を“HD音声”に設定時</th><th>“BD-HD音声設定”を“複合音声”に設定時</th><th>“BD-HD音声設定”を“HD音声”に設定時</th><th>“BD-HD音声設定”を“複合音声”に設定時</th></tr>
<tr><td rowspan="7">BDビデオ</td><td>ドルビーデジタル</td><td>ドルビーデジタル</td><td>ドルビーデジタル</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td>ドルビーデジタルプラス</td><td>ドルビーデジタル</td><td>ドルビーデジタル</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td>ドルビーTrueHD</td><td>ドルビーデジタル</td><td>ドルビーデジタル</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td>DTS®</td><td>DTS®</td><td>DTS®</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td>DTS-HD®</td><td>DTS®</td><td>DTS®</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td>AAC</td><td>AAC</td><td>AAC</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td>LPCM</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td><td>ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td rowspan="3">DVDビデオ</td><td>ドルビーデジタル</td><td colspan="2">ドルビーデジタル</td><td colspan="2">ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td>DTS®</td><td colspan="2">DTS®</td><td colspan="2">ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td>LPCM</td><td colspan="2">2ch LPCM</td><td colspan="2">2ch LPCM</td></tr>
<tr><td rowspan="3">AVCREC™</td><td>ドルビーデジタル</td><td colspan="2">ドルビーデジタル</td><td colspan="2">ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td>AAC※</td><td colspan="2">AAC</td><td colspan="2">ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td>LPCM</td><td colspan="2">ダウンミックス2ch LPCM</td><td colspan="2">ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td rowspan="2">AVCHD</td><td>ドルビーデジタル</td><td colspan="2">ドルビーデジタル</td><td colspan="2">ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td>LPCM</td><td colspan="2">ダウンミックス2ch LPCM</td><td colspan="2">ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
<tr><td colspan="2">音楽用CD</td><td colspan="2">2ch LPCM</td><td colspan="2">2ch LPCM</td></tr>
<tr><td colspan="2">DTS-CD</td><td colspan="2">DTS®</td><td colspan="2">ダウンミックス2ch LPCM</td></tr>
</table>

※ デジタル放送で使用されるAAC音声の再生は可能ですが、パソコンなどで記録されたAAC音声の再生はできません。

### お知らせ

- 再生するBDビデオにセカンダリ音声やインタラクティブオーディオがない場合は、“BD-HD音声設定”を“複合音声”に設定していても、出力音声は“HD音声”と同様になります。
- デジタル音声出力の設定を変更するときは、“HDMI設定”の“音声出力設定”を“切”にしてください。

## ■ HDMI出力端子からの音声信号

| メディア | 音楽記録方式 | “音声出力設定” | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | “ビットストリーム” | | “LPCM” | |
| | | “BD-HD音声設定”を“HD音声”に設定時 | “BD-HD音声設定”を“複合音声”に設定時 | “BD-HD音声設定”を“HD音声”に設定時 | “BD-HD音声設定”を“複合音声”に設定時 |
| BDビデオ | ドルビーデジタル | ドルビーデジタル | ドルビーデジタル | マルチLPCM | マルチLPCM |
| | ドルビーデジタルプラス | ドルビーデジタルプラス | ドルビーデジタル[*2] | マルチLPCM[*1] | マルチLPCM[*2] |
| | ドルビーTrueHD | ドルビーTrueHD | ドルビーデジタル[*4] | マルチLPCM[*3] | マルチLPCM[*4] |
| | DTS® | DTS® | DTS® | マルチLPCM[*6] | マルチLPCM[*6] |
| | DTS-HD® | DTS-HD® | DTS®[*5] | マルチLPCM[*1,6] | マルチLPCM[*5,6] |
| | AAC | AAC | AAC | マルチLPCM | マルチLPCM |
| | LPCM | マルチLPCM | マルチLPCM | マルチLPCM | マルチLPCM |
| DVDビデオ | ドルビーデジタル | ドルビーデジタル | | マルチLPCM | |
| | DTS® | DTS® | | マルチLPCM | |
| | LPCM | 2ch LPCM | | 2ch LPCM | |
| AVCREC™ | ドルビーデジタル | ドルビーデジタル | | マルチLPCM | |
| | AAC※ | AAC | | マルチLPCM | |
| | LPCM | 2ch LPCM | | マルチLPCM | |
| AVCHD | ドルビーデジタル | ドルビーデジタル | | マルチLPCM | |
| | LPCM | 2ch LPCM | | マルチLPCM | |
| 音楽用CD | | 2ch LPCM | | 2ch LPCM | |
| DTS-CD | | DTS® | | マルチLPCM | |

*1) フルデコードされます。
*2) インデペンデントサブストリームのみデコードされます。
*3) ドルビーTrueHDストリームでデコードされます。
*4) ドルビーデジタルサブストリームのみデコードされます。
*5) コアサブストリームのみデコードされます。
*6) マルチチャンネルの音声は7.1チャンネルとしてデコードされますが、出力する音声のチャンネル数は接続しているスピーカーの数により変わります。

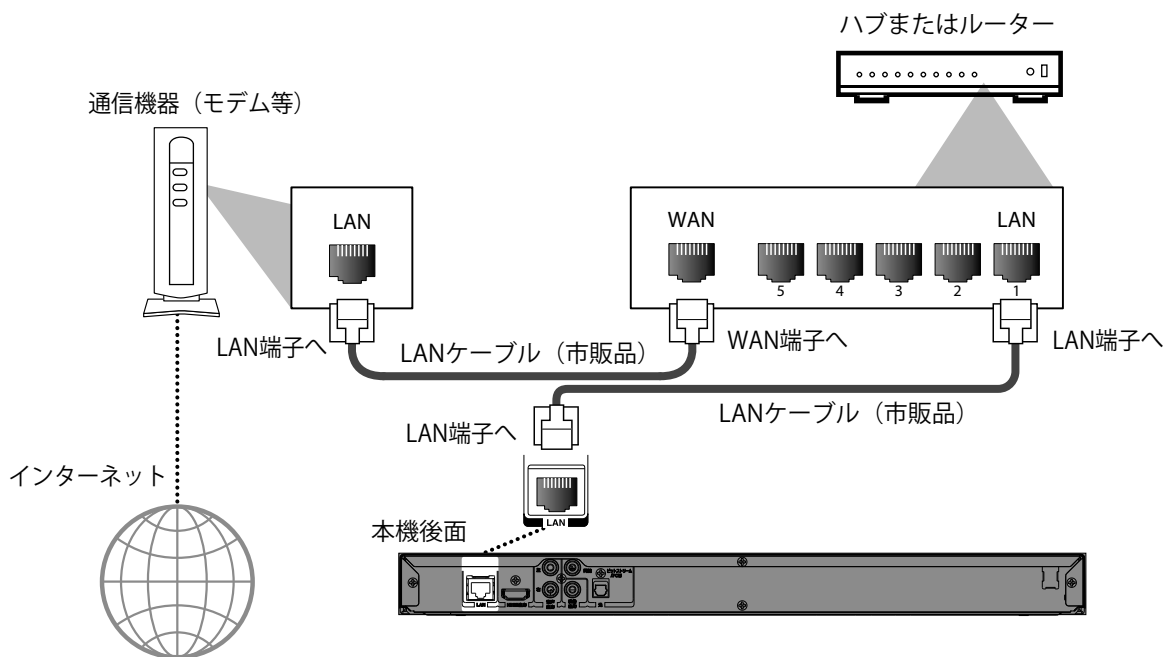
※ デジタル放送で使用されるAAC音声の再生は可能ですが、パソコンなどで記録されたAAC音声の再生はできません。

### お知らせ

- 接続している機器がHDMIビットストリームに対応していない場合“音声出力設定”を“ビットストリーム”に設定していても、機器の性能に応じてマルチLPCM、またはダウンミックス2ch LPCMで出力されます。
- 再生するBDビデオにセカンダリ音声やインタラクティブオーディオがない場合は、“BD-HD音声設定”を“複合音声”に設定していても、出力音声は“HD音声”と同様になります。
- HDMI端子からの音声信号（サンプリング周波数、チャンネル数、ビット長など）は、接続する機器により制限されることがあります。アナログ音声も同様に制限されます。
- プロジェクターなどのHDMI対応モニターによっては、音声信号入力に対応していない場合があります。そのような機器と本機を接続した場合は、HDMI出力端子から音声信号は出力されません。
- 再生を行っているときに、“HDMI設定”の “解像度設定”を切り換えたり、入力を切り換えるなどの操作を行うと、音声・映像が一時途切れることがあります。

## 4.3　ネットワーク接続

本機をインターネットに接続することで、BD-Live™機能を使用することができます。

- BD-Live™の詳細については、“BD-Live™を楽しむ”（☞ 36 ページ）をご覧ください。

### ご注意

- LAN端子にはLANケーブル以外のケーブルを接続しないでください。故障の原因になります。
- 本機とパソコンのLAN端子とは直接つながないでください。故障の原因になります。

### お知らせ

- 接続が完了したら、“ネットワーク設定”（☞ 46 ページ）で必要な設定を行ってください。
- お使いのモデムにルーター機能がなければ、別途、有線ルーターを接続してください。
- お使いのモデムにルーター機能はあるが、空きポートがない場合は、ハブを接続してください。
- ルーターは通信速度が10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応しているルーターを使用してください。
- 本機のLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターに接続してください。
- 詳しい接続方法については、お使いの通信機器の取扱説明書をご覧ください。

# 5. 接続が完了したら

## 5.1 テレビに画面を出す

すべての接続を終えたら、本機とテレビの電源を入れ、テレビのチャンネルを本機を接続した外部入力に切り換えてください。

1. **すべての接続を終えたら、[⏻/ I 電源]を押して本機の電源を入れる**
2. **テレビの電源を入れる**
3. **テレビのチャンネルを本機を接続した外部入力に切り換える**
   - 詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
   - 正しい入力に切り換えると、ホーム画面が表示されます。

### お知らせ

- HDMIケーブルを使用してテレビを接続している場合、ホーム画面が表示されるまで少し時間がかかることがあります。

# 6. 再生に関する情報

## 6.1　再生に関する情報

### ■ 本機で再生できるディスクとファイル

本機で再生できるディスクとファイルは次の通りです。

| 再生できるディスク | ロゴ | ディスク盤の大きさ |
|---|---|---|
| BDビデオ | | 12cm片面１層、２層 |
| ブルーレイ3D™ディスク | | |
| BD-RE（Ver. 2.1） | | 12cm / ８cm<br>片面１層、片面２層 |
| BD-R（Ver. 1.1 / 1.2 / 1.3） | | 12cm / ８cm<br>片面１層、片面２層 |
| DVDビデオ | | 12cm片面１層、２層<br>12cm両面２層<br>８cm片面１層 |
| DVD-RW | | 12cm / ８cm<br>片面１層 |
| DVD-R | | 12cm / ８cm<br>片面１層、片面２層 |
| CD-DA（音楽用CD） | | 12cm / ８cmディスク |
| CD-RW | | 12cm / ８cmディスク |
| CD-R | | 12cm / ８cmディスク |
| DTS-CD | - | 12cmディスク |

| 再生できるファイル | メディア |
|---|---|
| AVCHD | DVD-RW/-R<br>※USB端子で接続できるカードリーダーなどを使用すると、SDメモリーカードなどに記録されたAVCHDを再生することもできます。 |
| JPEG | BD-RE/-R, DVD-RW/-R, CD-RW/-R,<br>USBメモリー |

#### 本機で再生できる記録方式について

*BD-RE/-Rディスク*

本機ではBDAV（Blu-ray Disc Audio/Visual）モードで記録されたBD-RE/-Rを再生することができます。なお、ファイナライズ（クローズ）を行っていないBD-Rは再生できないことがありますので、その場合は録画した機器でファイナライズ（クローズ）を行ってください。ディスクの記録状態によってはディスクが読み取れなかったり、正常に再生できないことがあります。

*DVD-RW/-Rディスク*

本機では、AVCREC™モード、VR（ビデオレコーディング）モードまたはビデオモードで記録されたDVD-RW/-R、VRモードで記録されたCPRM Ver1.2 対応のDVD-RWを再生することができます。なお、ファイナライズを行っていないディスクは再生できませんので、その場合は録画した機器でファイナライズを行ってください。ディスクの記録状態によってはディスクが読み取れなかったり、正常に再生できないことがあります。

#### リージョンコードおよびカラー方式について

BDビデオ

DVDビデオ

本機で再生できるBDビデオのリージョンコードはA（またはAを含むもの）です。本機で再生できるDVDビデオのリージョンコードは２またはALLです。本機と異なるリージョンコードのディスクは再生できません。

本機では、NTSC（日本のテレビ方式）以外の方式で録画されたディスクは再生できません。

## ■ 再生できるUSBメモリー

| 再生できるUSBメモリーの種類 | メディア |
|---|---|
| USBメモリー | JPEG, ブルーレイディスク™用ピクチャー・イン・ピクチャーや字幕などのブルーレイディスク™プロファイル2.0/1.1 |

### USBメモリーについて

#### ご注意

- USBメモリーは分解したり、修理しないでください。
- USBメモリーの金属端子（記録）部を指などで直接触らないでください。

#### お知らせ

- 本機は、ファイルシステムがFAT16またはFAT32のUSBメモリーに対応しています。
- NTFSファイルシステムには対応していません。
- USBメモリーをパソコンでフォーマット（初期化）すると、本機で使用できない場合があります。このようなときは、本機で再度フォーマットしてください。詳しくは“初期化”（☞ 53 ページ）をご覧ください。
- USBメモリーはケースに入れて保管してください。

## ■ 再生できないメディアとファイル

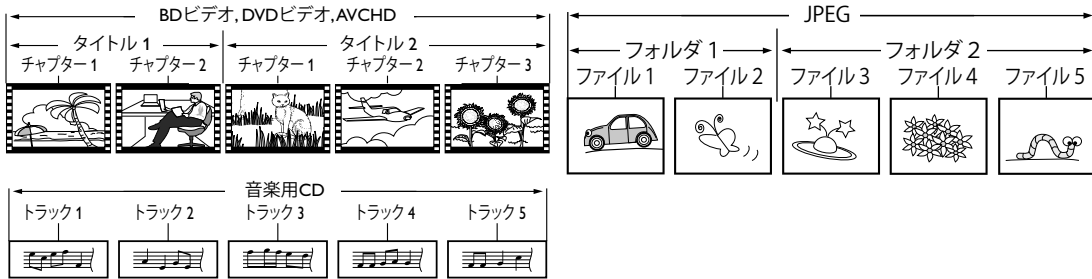
25 ページの”本機で再生できるディスク”以外のディスク。
代表的なものとしては、以下のディスクです。

- CD-ROM
- VSD
- video CD
- SVCD
- 未ファイナライズのディスク
- DivX®/MP3/Windows Media™Audio ファイルを記録したブルーレイディスク™/DVD/CD/USBメモリー
- ブルーレイディスク™/DVDハイブリッドディスク（ブルーレイディスク™層のみ再生可）
- スーパーオーディオCD（ハイブリッドディスクで、CD層に記録された音声のみ再生可能）
- マルチボーダーで記録したBD-RE/-Rの場合、追加して記録した部分の再生ができません。
- DVD-RAM
- DVD-audio
- HD DVD
- SDメモリーカード
- BD-RE (ver.1.0)
- AVCHDファイルを記録したBD-RE/-R
- 非対応のモードで記録されたDVD-RW/-R
- 本機はWindows Media™ Digital Rights Management (DRM)によって保護されたコンテンツの再生はできません。
- マルチボーダーで記録したDVD-RW/-Rの場合、追加して記録した部分の再生ができない場合があります。

## ■ 著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、ロヴィ社の許可が必要で、ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。また、分解や改造することも禁止されています。

## ■ ディスクおよびUSBメモリーの構成について

ディスクやUSBメモリーに記録されたコンテンツは、いくつかの大きな区切り（タイトル）、またはフォルダ（グループ）に分けられています。タイトルやグループはその中でさらに小さな区切り（チャプター）に分けられています。

## ■ メディアアイコン

[ ] : グループ (フォルダ) アイコン

[ ] : 音楽ファイルアイコン

### お知らせ

- 認識できない文字は、*（アスタリスク）で表示されます。

## ■ 推奨されるファイル形式

*AVCHD*

本機はDVDに記録されたAVCHDファイル（*.m2ts, *.mts or *.m2t）を単体で再生することはできません。 ファイルとフォルダの相対関係がAVCHDの仕様に沿った構造をしていなくてはなりません。
AVCHDファイルをDVDやSDメモリーカードなどに記録するには、必ずAVCHDに対応した機器/ソフトウェアを使用してください。（詳しくは、機器/ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。）

*JPEG*

- 最大解像度　: 2,560 × 1,900ピクセル（サブサンプリング 4:4:4）
  5,120 × 3,840ピクセル（サブサンプリング 4:2:2以下）
- 最小解像度　: 32 × 32ピクセル
- 最大ファイルサイズ : 12MB
- 拡張子が .jpg（.JPG) 以外のJPEGファイルは認識されません。

### フォルダ / ファイル数制限

*ブルーレイディスク™、 DVD 、USBメモリー*

- 999 フォルダ (グループ) 、 9,999 ファイル

*CD*

- 255 フォルダ (グループ) 、 999 トラック / ファイル

### 階層数制限

*ブルーレイディスク™、 DVD 、USBメモリー*

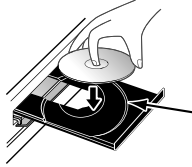
- 9階層までのフォルダを認識することができます。（それ以下の階層のフォルダは認識できません。）

*CD*

- 8階層までのフォルダを認識することができます。（それ以下の階層のフォルダは認識できません。）

# 7. 基本再生

## 7.1 ディスクの入れかた

1. [トレイ開閉 ⏏]を押し、ディスクトレイを開く
2. 再生したい記録面を下にして、ディスクをディスクトレイに置く

トレイガイドに合わせて水平に乗せる

- “再生できるディスクとファイル”（☞ 25 ページ）で、本機で再生できるディスクをお確かめください。

3. [トレイ開閉 ⏏]を押し、ディスクトレイを閉じる

- 読み込みに時間がかかることがあります。特にブルーレイディスク™は読み込みに時間がかかります。

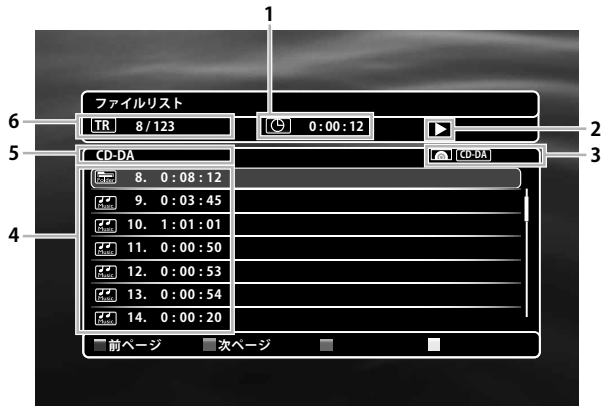
**ディスクを取り出すには：**
[トレイ開閉 ⏏]を押してディスクトレイを開き、ディスクを取り出してください。ディスクを取り出したあとは[トレイ開閉 ⏏]を押し、ディスクトレイを閉じてください。

## 7.2 タイトル / トラック / ファイルリストの見かた

### ■ タイトルリスト

例)

1. 選択されたタイトルの現在までの再生時間
2. リジューム情報
3. メディアタイプ
4. プレビュー
5. 録画時間
6. 録画日時曜日
7. 記録開始時間
8. タイトル番号 / タイトル名 / 記録日(年/月)
9. 選択されているタイトル名
10. 現在のタイトル番号 / 総タイトル数、現在のチャプター番号 / 総チャプター数

## ■ 音楽用CDトラックリスト

1. 選択されたトラックの現在までの再生時間
2. 現在の再生状態
3. メディアタイプ
4. トラックリスト
5. ディスク / USBメモリー内のフォルダ名
6. 現在のトラック番号 / 総トラック数

## ■ ピクチャーファイルリスト

JPEG

1. 現在のファイル番号 / 総ファイル数
2. 現在の再生状態
3. メディアタイプ
4. グループ（フォルダ） / ファイルリスト（サムネイル）

## ■ タイトル / トラック / ファイルリストの使いかた

- [▲ / ▼ / ◀ / ▶]で選択されている部分が上下左右に移動します。
- グループ（フォルダ）を選び、[決定]を押すと、ファイルが表示されます。
- [リターン] でひとつ上の階層に戻ります。
- [赤] または [緑] でリストのページを切り換えます。
- [ホーム]でリストの表示を消します。

## お知らせ

- 記録したときの条件によっては、一覧に表示されているファイルを再生できないことがあります。
- JPEG、AVCHD、AVCRECが混在している場合は、該当するアイコンを選択して、[決定]を押してください。

## 7.3　ディスクを再生する

CD　AVCHD　JPEG

1. **ディスクを入れる**（☞28 ページ）
   - BDビデオ / DVDビデオ / AVCHDの場合、自動的に再生が始まります。始まらない場合は**[再生 ▶]**を押してください。
   - ディスクによっては、メニュー画面が表示されるものがあります。ディスクのメニュー画面については、“ディスクに記録されているメニュー画面を使用する”（☞ 32 ページ）を参照してください。
   - 種類の違うファイルが混在している場合は、ファイルタイプ選択画面が表示されるので、手順2.へ進んでください。
   - タイトル（トラック / ファイル）リストが表示された場合は、手順3へ進んでください。
2. **お好みのファイルの種類を選び、[決定]を押す**

   - ファイルリストまたはタイトルリストが表示されます。
3. **お好みのファイルまたはタイトルを選び、[再生 ▶]を押す**
   - “タイトル / トラック / ファイルリストの使いかた”（☞ 29 ページ）を参照してください。

### お知らせ

- ディスクや本機により禁止されている操作が行われると、操作中にテレビ画面の右上に ⊘ が表示されることがあります。
- ２層ディスクの場合、レイヤーの変わり目で一瞬画像が静止することがありますが、故障ではありません。
- ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。詳しくは、それぞれのディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 一時停止中の映像にブレが生じる場合は、再生を一旦停止してから、“スチルモード”を“フィールド”に切り換えてください。（☞ 42 ページ）

### ■ リジューム機能について

BD ビデオ　BD BDAVモード　DVD ビデオ　DVD -RW/-R VRモード　DVD -RW/-R AVCRECモード　AVCHD

リジューム情報が記録されているときに**[再生 ▶]**を押すと、再生を停止した場所から再生が始まります。

CD

**[再生 ▶]**を押すと、再生を停止した場所から再生が始まります。

**[決定]**を押すと、トラック / ファイルの頭から再生が始まります。

JPEG

**[再生 ▶]**または**[決定]**を押すと、選択されているファイルの頭から再生が始まります。

### お知らせ

- 再生中に[**ホーム**]を押すと、再生が停止し、ホーム画面が表示されます。
- BD-J対応ディスクは、ディスクによってリジューム機能を利用できないものがあります。
- [**再生 ▶**]の代わりに[**決定**]を押すと、リジューム情報が記録されている場合でもディスクの先頭から再生を始めることができます。
- “ディスク”のリジューム情報は以下の場合に消えます。
  - リジューム情報が記録されているときに、再度[**停止 ■**]を押す
  - 視聴制限レベルが変更されたとき
  - ディスクトレイを開けたとき
- “USB”のリジューム情報は以下の場合に消えます。
  - リジューム情報が記録されているときに、再度[**停止 ■**]を押す
  - USBメモリーを本機から抜いたとき
  - 本機をスタンバイ状態にしたとき
- 上記以外の場合、リジューム情報は電源を切っても保持されます。

### JPEG再生について

- 画像を表示しているときは、[**◀ / ▶**]を押すごとに時計回りに90度ずつ画像が回転します。
- 再生中に[**トップメニュー**]を押すと、ファイルリストに戻ります。
- 再生できないフォルダやファイルもリストに表示されることがあります。
- 高解像度で記録された場合など、JPEGファイルの容量が大きいと、画面表示に時間がかかることがあります。
- プログレッシブ形式で記録されたJPEG形式の画像は再生できません。

## 7.4　ブルーレイ3D™ディスクの再生

BD ビデオ

本機はブルーレイ3D™ディスクを再生することができます。
ブルーレイ3D™ディスクを視聴するには、以下のものが必要となります。

-3D対応テレビ

-High Speed対応HDMIケーブル

-3Dメガネ

-ブルーレイ3D™ディスク

1. **本機を3D対応テレビにHigh Speed対応HDMIケーブルを使って接続する**
   - “HDMI入力端子付きテレビに接続する場合”（☞18ページ）、“3D出力設定”（☞44ページ）をご覧ください。
2. **ブルーレイ3D™ディスクを入れる**
   - “ディスクの入れかた”（☞ 28 ページ）をご覧ください。
3. **再生が始まります。始まらない場合は[再生 ▶]を押す**
   - ディスクによっては、メニュー画面が表示されるものがあります。ディスクのメニュー画面については、“ディスクに記録されているメニュー画面を使用する”（☞ 32 ページ）を参照してください。

   **再生を一時停止するには**　: [**一時停止 ❚❚**]を押す
   **通常の再生に戻すには**　: [**再生 ▶**]を押す
   **再生を停止するには**　: [**停止 ■**]を押す

   再生を停止した場所のリジューム情報が記憶されます。

### ご注意

- 3Dビデオを視聴すると頭痛やめまい、倦怠感を引き起こす場合があります。長時間の視聴はお控えください。
- 以下に該当する方は、使用をお控えください：
  -乗り物酔いしやすい方
  -6歳以下のお子様
  -妊娠中の方

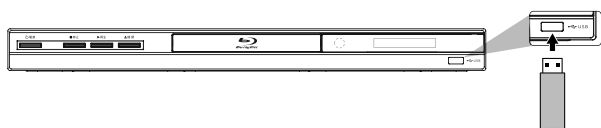
詳しくは“3Dテレビ視聴時における健康と安全に関する重要なお知らせ”（☞ 59 ページ）をご覧ください。

## お知らせ

- 詳しくは3Dテレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビが3Dに対応していない場合、ディスクによってはブルーレイ3D™ディスクの再生は2Dに変換されます。
- “3D出力設定”を“2D”にすることで、3D出力モードを切ることができます。（☞ 44 ページ）
- ブルーレイ3D™ディスクによっては2Dモードの再生ができないものがあります。
- [表示]で現在のモード(2Dまたは3D）を確認することができます。
- ブルーレイ3D™ディスクのリジューム情報が記録されているときに“3D出力設定”を“2D”にすると、リジューム情報は消去されます。
- 3D映像をお楽しみいただけるサイドバイサイド(2画面構成)などの放送を記録したディスクは、テレビ側の設定に従って再生されます。”本機設定”の”3D出力設定”、”3D出力方式”とは関係なく再生されます。

## 7.5 USBメモリーの再生

AVCHD JPEG

本機では、USBメモリーに記録されたJPEGファイルや、SDメモリーカードなどに記録されたAVCHDファイルを再生できます。
また、USBメモリーを利用して以下の機能を楽しむことができます。
- BD-ROMプロファイル1.1の機能（詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。）
- BD-Live™機能（BD-ROMプロファイル2.0）BD-Live™については、“BD-Live™を楽しむ”（☞36ページ）をご覧ください。

1. **USBメモリーやカードリーダーのUSB端子を本体のUSB端子に入れる**
2. **[ホーム]を押す**
3. **[◀/ ▶]で“USB”を選び、[決定]を押す**
   - AVCHDのみが記録されている場合は、自動的に再生が始まります。
   - ファイルリストが表示された場合は、お好みのファイルを選び、[再生 ▶]を押してください。
   - 種類の違うファイルが混在している場合は、ファイルタイプ選択画面が表示されるので、お好みのファイルの種類を選び、[決定]を押してください。
   - ”画像”を選ぶとファイルリストが表示されるので、お好みのファイルを選び、[再生 ▶]を押してください。

**USB機器を取り外すには：**
**再生が停止されていることを確認し、ゆっくりと引き出してください。**

## ご注意

- USBメモリーのファイル再生中にUSBメモリーを抜いたり、本機をスタンバイ状態にしないでください。
  ファイルが壊れたり、故障の原因になることがあります。

## お知らせ

- USBメモリー内のフォルダやファイルを、パソコン上で消さないでください。USBメモリーをパソコンでフォーマット（初期化）すると、本機で使用できない場合があります。このようなときは、本機で再度フォーマットしてください。詳しくは、“初期化”（☞ 53 ページ）をご覧ください。
- フォルダ名やファイル名に下記の認識できない文字が使用されている場合、フォルダ名、ファイル名が正しく表示できないことがあります。
  - 認識できない文字 : . , “ = + [ ] ; / \ : | ¥

## 7.6 ディスクに記録されているメニュー画面を使用する

BD ビデオ DVD ビデオ AVCHD

BDビデオ、DVDビデオ、AVCHDの中には、ディスクのいろいろな操作ができるようにメニュー画面が用意されているものがあります。そのようなディスクを入れると自動的にメニューが表示されます。表示されない場合は[トップメニュー]や[ポップメニュー/メニュー]を押してください。

## お知らせ

- メニューの内容はディスクにより異なります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
- [トップメニュー]や[ポップメニュー/メニュー]で表示できない場合もあります。

## 7.7　BDAVモードやAVCREC™モード、VRモードで記録されたディスクを再生する

BD BDAVモード / DVD -RW/-R AVCRECモード / DVD -RW/-R VRモード

BDAVモードで記録されたBD-RE/-RディスクやAVCREC™モード、VRモードで記録されたDVD-RW/-Rディスクにプレイリストを設定しているときは、“オリジナル”または“プレイリスト”を選んで再生することができます。

1. **ディスクを入れる**
   - タイトルリストが表示されます。
2. **タイトルリスト表示中、[緑]で“オリジナル”または“プレイリスト”を切り換える**
3. **[▲ / ▼]でお好みのタイトルを選び、[決定]または[再生 ▶]を押す**

### お知らせ

- BDAVモードやAVCREC™モード、VRモードとは、各モードに対応しているディスクを使ってプログラム編集などを行う、ブルーレイディスク™/DVDレコーダーならではの機能を楽しむ記録フォーマットです。
- ブルーレイディスク™/DVDレコーダーで録画したディスクの場合、録画して作られたタイトル（番組）をオリジナルと呼びます。
- オリジナルをもとに編集して作成したタイトルをプレイリストと呼びます。プレイリストが作成されていないディスクでは、オリジナルのみを表示します。
- ファイナライズされていないBD-Rは再生できないことがあります。ファイナライズされていないDVD-RW/-Rは再生できません。
- タイトルリスト画面は記録したブルーレイディスク™レコーダー、DVDレコーダーやディスクによって異なります。
- ディスク名、タイトル名では、認識されない記号などの文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、記録方式によっては、認識できる文字であっても＊（アスタリスク）で表示される場合があります。

## 7.8　早送り/早戻し

BD ビデオ / BD BDAVモード / DVD ビデオ / DVD -RW/-R VRモード / DVD -RW/-R AVCRECモード / CD / AVCHD

1. **再生中に[早送り ▶▶]または[早戻し ◀◀]を押す**
   - 繰り返し押すたびに早送り/早戻しの速度を切り換えます。
2. **[再生 ▶]を押して通常の再生に戻る**

### お知らせ

- ブルーレイディスク™、BDAV、DVD、DVD-VR、AVCREC™、AVCHDの早戻し、早送り中は音声は出ません。
- 早戻し、早送りの速度は、ブルーレイディスク™、BDAV、DVD、DVD-VR、AVCREC™、AVCHDでは５段階まで切り換えできます。音楽用CDでは３段階まで切り換えできます。
- 音楽用CDではトラックをまたいでの早戻し、早送りはできません。

## 7.9　スロー再生

BD ビデオ / BD BDAVモード / DVD ビデオ / DVD -RW/-R VRモード / DVD -RW/-R AVCRECモード / AVCHD

1. **一時停止中に[早送り ▶▶]を押す**
   - 繰り返し押すたびにスロー再生の速度を３段階まで切り換えます。
2. **[再生 ▶]を押して通常の再生に戻る**

### お知らせ

- 逆スロー再生はできません。
- スロー再生中は音声が出ません。
- 一時停止中の映像にブレが生じる場合は、再生を一旦停止してから、“映像出力設定” の “スチルモード”を“フィールド”に切り換えてください。（☞ 42 ページ）

## 7.10 コマ送り再生

BD ビデオ　BD BDAVモード　DVD ビデオ　DVD -RW/-R VRモード　DVD -RW/-R AVCRECモード　AVCHD

1. **一時停止中に[スキップ ▶▶|]を繰り返し押す**
    - 繰り返し押すたびに、1 コマずつ再生します。
2. **[再生 ▶]または[一時停止 ❚❚]を押して通常の再生に戻る**

### お知らせ

- コマ戻し再生はできません。
- 一時停止中の映像にブレが生じる場合は、再生を一旦停止してから、“映像出力設定” の “スチルモード”を “フィールド”に切り換えてください。（☞ 42 ページ）

## 7.11 リピート再生

再生するディスクやファイルによってリピート再生の機能が異なります。

1. **再生中に[リピート]を押す**
2. **[▲ / ▼]でお好みのリピートモードを選ぶ**

| リピートモード | 再生するディスク / ファイル |
|---|---|
| チャプターリピート | BD ビデオ　BD BDAVモード　DVD ビデオ　DVD -RW/-R VRモード　DVD -RW/-R AVCRECモード　AVCHD |
| 現在のチャプターを繰り返し再生します。 | |
| タイトルリピート | BD ビデオ　BD BDAVモード　DVD ビデオ　DVD -RW/-R VRモード　DVD -RW/-R AVCRECモード　AVCHD |
| 現在のタイトルを繰り返し再生します。 | |
| トラックリピート | CD　JPEG |
| 現在のトラックまたはファイルを繰り返し再生します。 | |
| オールリピート | BD BDAVモード　DVD -RW/-R VRモード　DVD -RW/-R AVCRECモード　CD |
| メディアに含まれるすべてのタイトル、トラックまたはファイルを繰りかえし再生します。 | |
| グループリピート | JPEG |
| 現在のグループ（フォルダ）を繰り返し再生します。 | |
| ランダムリピート (音楽用CD) | CD |
| トラックをランダムに繰り返し再生します。 | |
| ランダムリピート (JPEG) | JPEG |
| フォルダの中のファイルをランダムに繰り返し再生します。 | |

3. **[リターン]を押し、設定を完了する**

### お知らせ

- 再生を停止すると、リピート再生は解除されます。
- A-Bリピート再生中は、リピート再生はできません。
- オールリピートを除くすべてのリピートモードでは、リピート再生中にほかのタイトルやチャプター、トラック、フォルダ、ファイルを選択するとリピート再生は解除されます。
- ディスクによっては、リピート再生ができないものがあります。
- 場面によっては、チャプターまたはタイトルリピートができないものがあります。

## 7.12 A-B リピート再生

BD ビデオ / BD BDAVモード / DVD ビデオ / DVD -RW/-R VRモード / DVD -RW/-R AVCRECモード / CD / AVCHD

指定した２点間を繰り返し再生します。

**1. 再生中に[A-B]を押す**

- 開始場所Aを指定します。
- 開始場所Aをキャンセルする場合は、**[クリア]**を押します。

**2. 再度[A-B]を押す**

- 終了場所Bを指定し、A-Bリピート再生を始めます。

**3. 通常の再生に戻すときは、A-Bリピート再生中に[A-B]を押す**

### お知らせ

- A-Bリピート再生は、同一のタイトルまたはトラック内にのみ設定できます。
- 場面によっては、A-Bリピート再生ができないものがあります。
- リピート再生中は、A-Bリピート再生はできません。

## 7.13 スライドショー

JPEG

**1. JPEGのファイルリストを表示する**

- ディスクの場合、“ディスクを再生する”（☞ 30 ページ）を参照してください。
- USBの場合、“USBメモリーの再生”（☞ 32 ページ）を参照してください。

**2. JPEGファイルの入ったフォルダを開く**

**3. [▲ / ▼ / ◀/ ▶]でお好みのファイルを選び、[決定]または [再生 ▶]を押す**

- フォルダ内で選択された画像から再生が始まり、10秒ごとに次の画像に移ります。

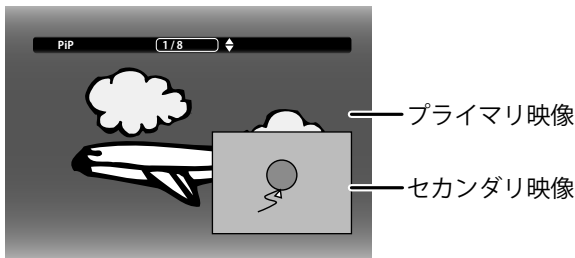
**4. [停止 ■] を押し、再生を停止する**

最初のフォルダに戻るには : **[トップメニュー]**を押してください。
最後に再生されたファイルに戻るには : **[ポップメニュー/メニュー]**を押してください。

### お知らせ

- ファイルのサイズが大きい場合、表示するのに時間がかかる場合があります。

## 7.14 PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）（BONUSVIEW™）の設定

PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）機能を持つBDビデオの再生時、セカンダリ映像を含むシーンで、セカンダリ映像を画面内に別画面で表示することができます。

1. **再生中に[PIP]を押す**
2. **[▲/ ▼]でセカンダリ映像に切り換える**
   - セカンダリ映像はセカンダリ音声とともに表示されます。
   - [◀ / ▶] で現在の設定と“切”を切り換えます。
3. **[PIP]または[リターン]を押して画面の表示を消す**
   - セカンダリ音声の設定に関しては, “音声を切り換える” (☞ 39 ページ)をご覧ください。

### お知らせ

- セカンダリ映像の音声は、“セカンダリ”が“切”、または“BD-HD音声設定”が“HD音声”に設定時には出力されません。詳しくは、“音声を切り換える” (☞ 39 ページ）をご覧ください。
- セカンダリ映像に切り換えが可能であっても、セカンダリ映像が表示されるかどうかは、ディスクのコンテンツによります。本編全ての場面でセカンダリ映像が表示されるわけではありません。

## 7.15 BD-Live™を楽しむ

本機は、BD-Live™機能付きのBDビデオ（BD-ROMプロファイル2.0）に対応しています。本機をインターネットに接続することで、特別映像や字幕などの追加コンテンツや、ネットワーク対戦ゲームなど、様々な機能を楽しむことができます。

ほとんどのBD-Live™ 対応ディスクでは、BD-Live™ 機能を利用して再生するために、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージにUSBメモリーを利用します。USBメモリーが挿入されていない場合、BD-Live™機能を利用できません。

1. **BD-Live™機能付きのディスクを入れる**
2. **充分な空き容量（1GB以上）があるUSBメモリーを入れる**
3. **[トップメニュー]を押す**
   - ディスクのトップメニューが表示されます。
4. **“BD-Live”を選択し、[決定]を押す**

### お知らせ

- BD-Live™機能を利用するには、本機をインターネットに接続し、必要な設定を行ってください。（☞ 23ページ、46ページ）
- BD-Live™で利用できる様々な機能は、ディスクにより異なります。詳しい機能や動作については、それぞれのディスクの画面表示や説明をご覧ください。
- ファイル再生中にUSBメモリーを抜いたり、本機をスタンバイ状態にしないでください。ファイルが壊れたり、故障の原因になることがあります。

- ディスクによっては、"ネットワーク設定"の"手動設定" でBD-Live™設定を変更する必要があります。（☞ 47 ページ）
- お使いのネットワーク環境によっては、ネットワーク接続に時間がかかったり、接続できない場合があります。
- ディスクの再生中、本機またはディスクの識別IDがコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。インターネット接続を制限するには、"ネットワーク設定"の"手動設定" でBD-Live™設定を変更してください。（☞ 47 ページ）
- サーバーに視聴履歴を保存すると、類似作品が紹介されます。
- ゲームのスコア履歴を保存することができます。

## 7.16 サーチ機能を使う

BD ビデオ　BD BDAVモード　DVD ビデオ　DVD +RW/+R VRモード　DVD +RW/+R AVCRECモード　AVCHD
CD　JPEG

### ■ [スキップ ⏮]または[スキップ ⏭]を使ったサーチ

**1. 再生中に[スキップ ⏮]または[スキップ ⏭]を押す**

押した回数だけチャプターまたはトラック、ファイルを飛び越します。

- チャプターがないタイトルの場合は、後のタイトルに切り換わります。

[スキップ ⏮]を 1 回押すと再生中のチャプターまたはトラック、ファイルの先頭に戻ります。

[スキップ ⏮]を繰り返し押すと、前のチャプターまたはトラック、ファイルに戻ります。

### ■ [サーチ]を使ったサーチ

ディスクやファイルによってサーチモードの機能が異なります。設定可能なサーチモードは下記の一覧をご覧ください。

| サーチモード | 再生するディスク / ファイル |
|---|---|
| タイトル / チャプターサーチ<br>指定したタイトルやチャプターを頭出しします。 | BD ビデオ、BD BDAVモード、DVD ビデオ、DVD +RW/+R VRモード、DVD +RW/+R AVCRECモード、AVCHD |
| トラックサーチ<br>指定したトラックやファイルを頭出しします。 | CD、JPEG |
| タイムサーチ<br>指定した時間で頭出しします。 | BD ビデオ、BD BDAVモード、DVD ビデオ、DVD +RW/+R VRモード、DVD +RW/+R AVCRECモード、CD、AVCHD |

**1. 再生中に[サーチ]を押す**

**2. [▲ /▼]でお好みのサーチモードを選び[決定]を押す**

例) タイムサーチ

サーチ　🕒 ⬍ 00:12:44 / 02:13:14

**3. 数字ボタン[0～9]または [▲ / ▼] で頭出ししたいタイトル、チャプター、トラック、ファイル番号または時間を入力する**

例) 1 時間45分15秒に設定

1 4 5 1 5

**4. [決定]を押す**

希望した箇所の頭出しを行ったあと、再生を始めます。

**5. [リターン]を押して画面の表示を消す**

### お知らせ

- 再生メニューからもサーチできます。 再生メニューは再生中に[モード]を押すと表示されます。

## ■ 数字ボタン[0～9]を使ったサーチ（ダイレクトサーチ）

### チャプターサーチ

タイトルの再生中、数字ボタン[0～9]で頭出ししたいチャプター番号を入力してください。 数秒のうちに指定したチャプターの再生が始まります。

### お知らせ

- BDビデオの場合、ディスクによっては上記の説明通りに動作しない場合があります。

### サーチ機能について

- タイムサーチは、同一のタイトル、トラックまたはファイル内にのみ設定できます。
- タイトル / チャプター / トラック / タイムサーチは、再生中のみ利用できます。
- 音楽用CDでは、ディスク全体のタイムサーチはできません。
- ディスクによっては、サーチモードが働かない場合があります。

## 7.17 字幕を切り換える

字幕に複数の言語が記録されている場合があります。 市販のディスクではケースに字幕対応言語が記載されています。
再生中に字幕言語を切り換えるには、下記の手順に従ってください。

BD ビデオ

1. **再生中に[字幕]を押す**
2. **[▲ /▼]で"プライマリ"か"セカンダリ" または"スタイル"を選び、[決定]を押す**

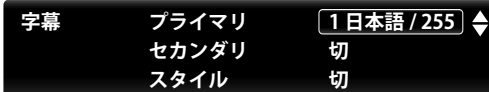
   "プライマリ" : プライマリ映像の字幕を設定します。
   "セカンダリ" : セカンダリ映像の字幕を設定します。
   "スタイル" : 字幕スタイルを選びます。

3. **[▲ / ▼]でお好みの字幕言語や字幕スタイルを選び、[決定]または[リターン]を押す**

   | 字幕 | プライマリ | 1 日本語 / 255 |
   |---|---|---|
   | | セカンダリ | 切 |
   | | スタイル | 切 |

   - [◀ / ▶]で現在の設定と"切"を切り換えます。

4. **[字幕]または[リターン]を押して画面の表示を消す**

DVD ビデオ　DVD -RW/-R VRモード　AVCHD

1. **再生中に[字幕]を押す**
2. **[▲ /▼]でお好みの字幕言語を選び、[決定]または[リターン]を押す**

   | 字幕 | 1 日本語 / 255 |
   |---|---|

   - [◀ / ▶]で現在の設定と"切"を切り換えます。

3. **[字幕]または[リターン]を押して画面の表示を消す**

### お知らせ

- ディスクの字幕に複数の言語または字幕スタイルが入っている場合にのみ有効です。
- ディスクによっては、字幕に複数の言語が入っていても**[字幕]**が働かず、ディスクメニュー上でのみ選択できる場合があります。操作方法については、ディスクの取扱説明書をお読みください。
- 字幕や字幕スタイルが含まれていない場合は、"切"または"なし"が表示され、項目も選択できません。
- 再生メニューからも字幕の設定ができます。 再生メニューは再生中に**[モード]**を押すと表示されます。
- ディスクトレイを開けたり、再生中に電源プラグを抜くと字幕の設定が解除され、初期設定に戻ります。

## 7.18 音声を切り換える

音声に複数の言語・音声フォーマットが記録されているブルーレイディスク™、BDAV、DVD、DVD-VR、AVCREC™、音楽用CD、AVCHDの再生中に、音声を切り換えることができます。また、ピクチャー･イン･ピクチャーのブルーレイディスク™では、インタラクティブオーディオやコメンタリー音声などの、セカンダリ音声を“セカンダリ”で設定することができます。

BD ビデオ

**1.　再生中に[音声]を押す**

**2.　[▲/▼]で“プライマリ”または“セカンダリ”を選び、[決定]を押す**

“プライマリ”　　: プライマリ映像の音声を設定します。
“セカンダリ”　　: セカンダリ映像の音声を設定します。

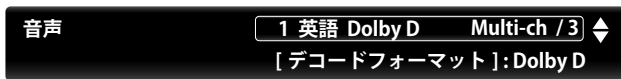
**3.　[▲/▼] でお好みの音声を選び、[決定]または[リターン]を押す**

- “セカンダリ”では、[◀/▶] で現在の設定と“切”を切り換えます。

**4.　[音声]または[リターン]を押して画面の表示を消す**

BD BDAVモード　DVD ビデオ　DVD -RW/-R VRモード　DVD -RW/-R AVCRECモード　CD　AVCHD

**1.　再生中に[音声]を押す**

**2.　[▲/▼] でお好みの音声を選び、[決定]または[リターン]を押す**

- 音楽用CDでは、以下の音声モードからお好みの音声モードを選択します。

“ステレオ”　　: 左右のチャンネル両方の音声を出力します。
“L-ch”　　: 左チャンネルの音声のみ出力します。
“R-ch”　　: 右チャンネルの音声のみ出力します。

**3.　[音声]または[リターン]を押して画面の表示を消す**

### お知らせ

- セカンダリ音声を楽しむためには必ずセカンダリ映像を表示し、“BD-HD音声設定”を“複合音声”に設定してください。セカンダリ映像が切になっている場合、セカンダリ音声は出ません。（☞ 43 ページ）
（ブルーレイディスク™によってはセカンダリ映像が表示されてなくてもセカンダリ音声が出力される場合があります。）
- 複数の音声が記録されていないディスクの再生時は、音声を切り換えることはできません。
- 音声が含まれていない場合は、“なし”が表示され、項目も選択できません。
- ディスクによっては、音声に複数の言語が入っていても**[音声]**が働かず、ディスクメニュー上でのみ選択できる場合があります。操作方法については、ディスクの取扱説明書をお読みください。
- DTS-CD（5.1音楽ディスク）は、音声を切り換えることはできません。
- 二ヵ国語（二重音声）BDAV、DVD-VRまたはAVCREC™では、“主音声”、“副音声”または“主/副音声”に切り換えることができます。
- ディスクトレイを開けたり、再生中に電源プラグを抜くと音声の設定が解除され、初期設定に戻ります。
- 再生メニューからも音声の設定ができます。 再生メニューは再生中に**[モード]**を押すと表示されます。

## 7.19 アングルを切り換える

BD ビデオ　DVD ビデオ

ブルーレイディスク™またはDVDによっては、複数のカメラアングルから撮影されたシーンが記録されているものがあります。複数のカメラアングル映像が記録されたシーンでは 🎥 が画面に表示され、アングルを切り換えることができます。

**1. 再生中に[アングル]を押し、アングル設定画面を表示する**

- 現在の設定を表示します。

**2. [▲/▼]でアングルを切り換える**

**3. [リターン]を押して画面の表示を消す**

### お知らせ

- 設定メニューで"アングル表示"を"切"に設定している場合、🎥 は表示されません。詳しくは、"アングル表示"（☞ 45 ページ）をご覧ください。
- 再生メニューからもアングルの設定ができます。 再生メニューは再生中に**[モード]**を押すと表示されます。

## 7.20 黒レベル

BD ビデオ　BD BDAVモード　DVD ビデオ　DVD +RW/-R VRモード　DVD +RW/-R AVCRECモード　AVCHD

映像ケーブルでテレビと接続している場合に、画像の暗い部分が明るくなるように調整します。

"切"か"入"で切り換えます。

**1. 再生中に[モード]を押し、再生メニューを表示する**

**2. [▲ / ▼]で"黒レベル"を選び、[決定]を押す**

**3. [▲ / ▼]で設定を切り換える**

例) ブルーレイディスク™

"入"　　: 暗部を明るくします。
"切"　　: オリジナル画像のまま表示します。

**4. [リターン]を押して画面の表示を消す**

### お知らせ

- 設定は、本機をスタンバイモードにしても記憶されます。
- 設定中に電源プラグを抜くと、設定値を記憶しない場合があります。
- HDMI出力端子から映像を出力中は効果がありません。

## 7.21 ノイズリダクション

BD ビデオ　DVD ビデオ　DVD -RW/-R VRモード　AVCHD

再生画像のノイズを軽減します。

**1.　再生中に[モード]を押し、再生メニューを表示する**

**2.　[▲ / ▼]で"ノイズリダクション"を選び、[決定]を押す**

**3.　[▲ / ▼]で設定を切り換える**

例) ブルーレイディスク™

ノイズリダクション　切

"入"　: "ノイズリダクション"を有効にします。
"切"　: "ノイズリダクション"を無効にします。

**4.　[リターン]を押して画面の表示を消す**

### お知らせ

- 設定は、本機をスタンバイモードにしても記憶されます。
- 設定中に電源プラグを抜くと、設定値を記憶しない場合があります。

## 7.22 サラウンド設定

BD ビデオ　BD BDAVモード　DVD ビデオ　DVD -RW/-R VRモード　DVD -RW/-R AVCRECモード　CD　AVCHD

お使いの2チャンネルステレオシステムで、仮想的なサラウンド効果を楽しむことができます。

**1.　再生中に[モード]を押し、再生メニューを表示する**

**2.　[▲ / ▼]で"サラウンド"を選び、[決定]を押す**

**3.　[▲ / ▼]で設定を切り換える**

例) ブルーレイディスク™

サラウンド　切

"入"　: "サラウンド"を有効にします。
"切"　: "サラウンド"を無効にします。

**4.　[リターン]を押して画面の表示を消す**

### お知らせ

- ディスクによってはサラウンド効果がでにくいものや、でないものがあります。
- 音声がひずむ場合は、ボリュームを下げるか、サラウンド設定を"切"にしてください。
- サラウンド設定中の音声出力は2ch LPCMとなります。

# 8. 設定一覧

設定メニュー画面から各種設定項目をお好みの状態にすることができます。 設定メニュー画面を操作するには下記の手順に従ってください。

1. **[ホーム]を押し、ホーム画面を表示する**
2. **[◄/►]で"本機設定"を選び、[決定]を押す**
3. **[▲/▼]でお好みの項目を選び、[決定]を押す**
4. **設定したい項目を選ぶ**
5. **変更したい項目を選び、[決定]を押す**
   - 前の画面に戻るには[リターン]を押します。
6. **[ホーム]を押し、設定を完了する**

## お知らせ

- 次ページ以降では、上記1.～4.までの操作手順を以下のように簡略化しています。

例）"BD視聴制限"の項目を設定する場合：

| [ホーム] → "本機設定" → "再生設定" → "BD視聴制限" |
|---|

設定できる項目に関しては、下記の表を参照ください。

- グレーの部分は初期設定値です。

| 設定項目 | 設定内容 | | |
|---|---|---|---|
| 映像出力設定 | TV画面選択 | 4:3レターボックス | 4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに映し、上下方向に黒い帯を表示します。 |
| | | 4:3パンスキャン | 4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映し、左右方向を一部カットします。パンスキャン指定のないDVDビデオソフトはレターボックスで表示されます。 |
| | | 16:9ワイド | 16:9ワイドテレビで見るときに選びます。16:9ワイド映像を画面いっぱいに映します。 |
| | スチルモード | 自動 | 表示する静止画の情報に応じて、"フィールド"または"フレーム"のどちらかで表示されます。 |
| | | フィールド | "自動"に設定しても画像のブレが発生するときに設定します。"フィールド"を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し荒くなりますが、ブレを生じません。 |
| | | フレーム | 動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに設定します。<br>"フレーム"を選択すると、画質は良くなりますが、２枚のフィールドを交互に出力させるため、画像にブレが生じることがあります。 |

| 設定項目 | 設定内容 | | |
|---|---|---|---|
| 音声出力設定 | DRC | 自動 | ドルビーTrueHDの再生中に、本機がディスクのオーディオDレンジ情報を認識し、自動でオーディオDレンジ設定を“入”または“切”に設定します。ドルビーTrueHD以外を再生した場合では“切”と同じ動作をします。 |
| | | 入 | 記録された音声の強弱の幅を調整します。 |
| | | 切 | 記録されたオリジナル音源で出力します。 |
| | ダウンサンプリング | 入 | 96kHzより大きなサンプリング周波数の入力に対応していないAVアンプ等にデジタル接続している場合に設定します。LPCMの信号を48kHzに変換して出力します。 |
| | | 切 | 著作権保護のないLPCMの信号が記録されたBDまたはDVDの再生時、192kHzまでの2ch音声については、変換せずにそのまま出力します。 |
| | BD-HD音声設定 | 複合音声 | インタラクティブオーディオやプライマリ音声、セカンダリ音声などをすべて出力します。 |
| | | HD音声 | プライマリ音声のみを高音質で出力します。 |
| | デジタル音声出力 | ビットストリーム | ディスクに収録されたドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラスまたはドルビーTrueHDのドルビーデジタル部分のみ、またはDTS-HD®のDTS部分のみをビットストリーム出力します。 |
| | | LPCM | ディスクに収録されたドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDまたは、DTS®、DTS-HD®をLPCMに変換して出力します。 |
| ネットワーク設定 | 接続設定 | 設定開始 | ネットワーク設定を行い、ネットワーク接続を有効にします。 |
| | | 接続テスト | ネットワーク接続が正しくできているか確認します。 |
| | 接続状況 | | 接続状況を表示します。 |

| 設定項目 | 設定内容 | | |
|---|---|---|---|
| HDMI設定 | Woooリンク制御 | 入 | Woooリンクを有効にします。 |
| | | 切 | Woooリンクを無効にします。 |
| | 3D出力設定 | 自動 | テレビが3Dに対応している場合、3D方式で出力します。テレビが3Dに対応していない場合、2D方式で出力します。 |
| | | 2D | 常に2D方式で出力します。 |
| | 3D出力方式 | フレームパッキング | 通常は"フレームパッキング"を選択してください。サイドバイサイド方式で記録されたディスクを再生する場合には、本機の設定は変更せずにテレビ側の3D設定のみをサイドバイサイドに変更してください。フレームパッキングに対応していないテレビと接続する場合は、テレビ側の方式に合せて、本機の設定を"サイドバイサイド"や"チェッカーボード"を選択してください。アンプを経由してテレビにHDMI接続している時、3D映像が正常に出ない場合には、直接テレビに接続して下さい。 |
| | | サイドバイサイド | |
| | | チェッカーボード | |
| | 解像度設定* | 自動 | 接続したHDMI機器によって、HDMI映像解像度を自動で設定します。 |
| | | 480p | 480プログレッシブで出力します。 |
| | | 720p | 720プログレッシブで出力します。 |
| | | 1080i | 1080インターレースで出力します。 |
| | | 1080p | 1080プログレッシブで出力します。 |
| | | 1080p/24 | 1080プログレッシブ24フレームで出力します。 |
| | ディープカラー | 自動 | 接続したHDMI機器がディープカラーに対応している場合、自動でHDMI出力端子からの映像信号をディープカラーで出力します。 |
| | | 切 | HDMI端子からの映像信号をディープカラーで出力しません。 |
| | 音声出力設定 | ビットストリーム | HDMI出力端子からマルチチャンネルのビットストリーム音声信号、またはLPCM音声信号を出力します。 |
| | | LPCM | HDMI出力端子からマルチチャンネルのLPCM音声信号を出力します。 |
| | | 切 | HDMI出力端子から音声を出力しません。 |
| | コンテンツタイプ | 入 | コンテンツタイプ機能を有効にします。 |
| | | 切 | コンテンツタイプ機能を無効にします。 |
| 再生設定 | 音声言語 | オリジナル | ディスクに設定されている言語で音声出力します。 |
| | | 日本語 | |
| | | 英語 | |
| | | その他 | |
| | 字幕言語 | 切 | |
| | | 日本語 | |
| | | 英語 | |
| | | その他 | |

* HDMI解像度設定を"自動"または"1080p/24"に設定した場合、ディスクによっては映像出力端子から映像が出力されないことがあります。

| 設定項目 | 設定内容 | | |
|---|---|---|---|
| 再生設定 | メニュー言語 | 日本語 | |
| | | 英語 | |
| | | その他 | |
| | BD視聴制限 | 切 | 全てのディスクが視聴できます。 |
| | | 視聴可能年齢設定 | 視聴可能な年齢を制限します。 |
| | DVD視聴制限 | 切 | 制限なく、全てのディスクが視聴できます。 |
| | | レベル8 | 年齢に関係なく視聴できます。 |
| | | レベル7 | 18歳未満の方は視聴できません。 |
| | | レベル6 | 18歳未満の方が視聴するには保護者の指導が必要です。 |
| | | レベル5 | 保護者同伴での視聴を推奨します。 |
| | | レベル4 | 13歳未満の方の視聴には不適切な表現が含まれています。 |
| | | レベル3 | 保護者の方の判断による視聴を推奨します。 |
| | | レベル2 | 一般的に視聴できる内容です。 |
| | | レベル1 | お子様が視聴されても問題のない内容です。 |
| | パスワード変更 | | |
| | アングル表示 | 入 | アングル切り換えが可能な箇所を再生中に、アングルアイコンを表示します。 |
| | | 切 | アングル切り換えが可能な箇所を再生していても、アングルアイコンを表示しません。 |
| その他設定 | ソフトウェア更新 | ディスク | DVDやCDメディアを使ってソフトウェアの更新ができます。 |
| | | USB | USBメモリーを使ってソフトウェアの更新ができます。 |
| | 高速起動モード* | 入 | 高速起動モードを有効にします。 |
| | | 切 | 高速起動モードを無効にします。 |
| | スクリーンセーバー | 入 | 再生停止中に操作をしない状態が約５分つづくと、自動的にスクリーンセーバーが働きます。 |
| | | 切 | 再生停止中に操作をしない状態がつづいても、スクリーンセーバーは実行されません。 |
| | 本体表示部調整 | 自動 | 再生中は暗く、停止中は明るくなります。 |
| | | 明 | 本体表示部を明るくします。 |
| | | 暗 | 本体表示部を暗くします。 |
| | バージョン情報 | | ソフトウェアのバージョン情報を表示します。 |
| | 初期化 | 設定初期化 | “メディア選択”、“視聴制限設定”、“ネットワーク設定”を除くすべての本機設定を初期設定に戻します。 |
| | | USB初期化 | 本機に挿入されているUSBメモリーを初期化します。 |
| | | (本機) BDデータ消去 | BDビデオの再生時に使用されるメモリーデータ(本機)を消去します。 |
| | | (USB) BDデータ消去 | BDビデオの再生時に使用されるメモリーデータ(USB)を消去します。 |
| | | ネットワーク設定 | ネットワーク設定をすべて初期設定に戻します。 |
| | ライセンス情報 | | 本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。 |

* “高速起動モード”が“入”のときは、待機時消費電力（電源切のときの消費電力）が増えます。

# 9. 設定

## 9.1 接続設定

BD-Live™.機能付きのディスクをお楽しみいただくには、本機をインターネットに接続し、以下のネットワーク設定を行ってください。

### ■ 接続テスト

| [ホーム] → “本機設定” → “ネットワーク設定” → “接続設定” → “接続テスト” |
|---|

本機をLANケーブルで接続したあとや、IPアドレスやDNS設定を変更したあとには接続テストを行い、ネットワークに接続できるかを確認してください。

1. **“接続テスト”を選び[決定]を押すと、接続テストが始まり、完了後にテスト結果が表示される**

   “接続中...” : 接続テスト中です。
   “成功” : ネットワーク接続が完了し、使用できる状態です。
   “失敗” : 接続と設定を確認してください。

2. **接続テストが成功したら[決定]を押す**

### お知らせ

- **接続テストに成功した場合、ネットワーク接続は正常にお使いいただける状態になっています。その他のネットワーク接続設定を行う必要はありません。**
- 接続テストに失敗した場合、ケーブル接続とルーターの設定を確認してください。お使いのルーター側で、本機のMACアドレスの設定が必要な場合があります。本機のMACアドレスは、“接続状況”で確認できます。詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。（☞ 43 ページ）
- 本機をはじめて直接モデムに接続する場合、または以前他のネットワーク機器（ルーターやパソコンなど）に接続されていたモデムに接続する場合は、モデムの設定をリセットするために、モデムの電源を一度切って入れなおしてください。さらに、本体の[⏻ **電源**]を10秒以上長押しして本機をリセットするか、 1 度電源プラグをコンセントから抜き、 5 ～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。

### ■ ネットワーク設定

| [ホーム] → “本機設定” → “ネットワーク設定” → “接続設定” → “設定開始” |
|---|

“設定開始”を選び**[決定]**を押すと、設定方法選択画面が表示されます。

#### 自動設定

自動でネットワークの設定を行います。

1. **“自動”を選び[決定]を押すと、**接続テストが始まり、完了後にテスト結果が表示されます
2. **“終了”を選ぶと設定が有効になり、自動的に“接続設定”が設定されます**

## 手動設定

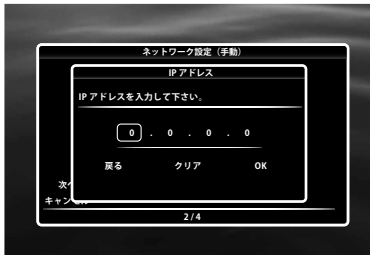
以下の状態のときは、必要に応じて手動で設定を行ってください。

- “自動”での設定で“接続テスト”が失敗したとき

- お使いのインターネットプロバイダーから設定内容の指示があった場合

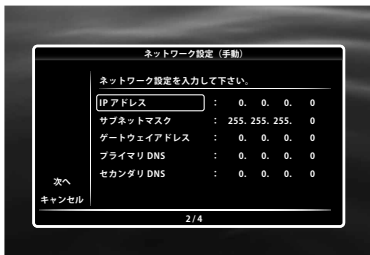
**1. “手動”を選び、[決定]を押す**

**2. “IPアドレス”を選び、[決定]を押す**

**3. IPアドレス入力画面が表示されるので、 [▲ / ▼ / ◀ / ▶]と数字ボタン[0〜9]でIPアドレスを入力する**

- IPアドレスはお使いのルーターの取扱説明書を確認してから設定してください。
- IPアドレスは、パソコンと違った値を入力してください。 IPアドレスが分からない場合は、パソコンなど他の機器での設定を確認してください。

**4. “OK”を選び、[決定]を押す**

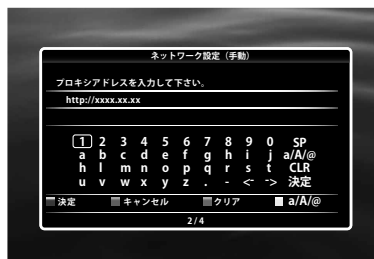
**5. 同様に“サブネットマスク”、 “ゲートウェイアドレス”、 “プライマリDNS”や“セカンダリDNS”のアドレスも入力して、[決定]を押す**

- インターネットプロバイダーから提供されたDNSアドレスを入力してくだい。
- DNSアドレスが分からない場合は、パソコンなど他の機器での設定を確認してください。

**6. “OK”を選び、[決定]を押す**

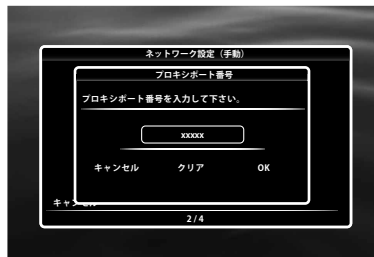
**7. “次へ”を選び、[決定]を押す**

**8. “はい”か“いいえ”を選び、[決定]を押す**

- プロキシサーバを使用する場合は“はい”を選び、次の手順へ進んでください。
- プロキシサーバを使用しない場合は“いいえ”を選び、手順12へ進んでください。

9. **プロキシアドレス入力画面が表示されるので、[▲/▼/◀/▶]と数字ボタン[0〜9]でプロキシアドレスを入力する**

| | |
|---|---|
| [▲/▼/◀/▶] | : 選択箇所の移動. |
| 数字ボタン[0〜9] | : 数字の入力 |
| [決定] | : 選択されている数字/ 文字の入力 |
| [青] | : 入力した数字/文字を決定する |
| [赤]* | : ネットワーク設定から抜ける |
| [緑] | : 入力した数字/文字を消す |
| [黄]* | : 入力する文字の切り替え（abc→ABC→@!?） |

* これらのボタンは他のネットワーク設定でも使います.

10. **[赤]を押すとプロキシポート番号設定画面が表示されるので、数字ボタン[0〜9]でプロキシポート番号を入力する**

11. **“OK”を選び、[決定]を押す**

12. **接続速度設定画面が表示されるので、[▲/▼]で接続するネットワーク環境に合わせて[決定]を押す(通常は“自動”を選択してください。)**

13. **BD-Live™ 設定画面が表示されるので、[▲/▼]でお好みの設定を選び[決定]を押す**

| | |
|---|---|
| “有効” | : BD-Live™コンテンツからのすべてのインターネットアクセスを許可します。 |
| “有効 (制限つき)” | : 証明書をもつBD-Live™コンテンツからのインターネットアクセス のみ許可します。 |
| “無効” | : BD-Live™コンテンツからのすべてのインターネットアクセスを禁止します。 |

14. **接続テスト確認画面が表示されるので、”はい“を選ぶ**

- 接続テストが始まり、完了後にテスト結果が表示されます。

15. **“終了”を選び、[決定]を押す**

### “IPアドレス”、“サブネットマスク”、“ゲートウェイアドレス”、“プライマリDNS”や“セカンダリDNS”の入力方法について

- ０～255までの数字を入力してください。255より大きい数字を入力した場合、自動的に255として入力されます。
- 間違った数字を入力した場合は、[クリア]を押してください。（自動的に“０”に戻ります。）
- １つのセル内に１桁または２桁の数字を入力し、次のセルに移動するときは、[1]を押してください。

### “プロキシアドレス”や“プロキシポート番号”の入力方法について

- プロキシポートでは、０～65535までの数字を入力してください。65535より大きい数字を入力した場合、自動的に65535として入力されます。
- お使いのネットワーク環境によっては、“プロキシポート番号”で設定したポートが使用できない場合もあります。

## 9.2 Woooリンク制御

| [ホーム] → “本機設定” → “HDMI設定” → “Woooリンク制御” |
|---|

当社製テレビと本機をHDMIケーブルを使って接続し、“Woooリンク制御”の設定を“入”にしている場合、本機の動作とテレビの動作を連動して行えます。（Woooリンク制御対応品に限ります。）“Woooリンク制御”では、以下の操作が可能になります。以下の機能を使用する場合は、テレビ側の設定も必要です。詳しくはテレビの取扱説明書を確認してください。

### ■ ワンタッチプレイ

以下の本機リモコンボタンを押すと、テレビの電源が入り、入力切換が自動的に切り換わります：

- [⏻/I 電源]、[再生 ▶]、[スキップ |◀◀]、[スキップ ▶▶|]、数字ボタン[0～9]、[ホーム]または[表示]

- [トップメニュー]または[ポップメニュー/メニュー]（※ディスク挿入時に限ります。）

### ■ 自動的に電源を切る

本体の[⏻電源]を２秒以上長押しすると、テレビと本機の電源がオフになります。また、テレビの電源を切ると本機の電源も自動的にオフになります。

## 9.3 HDMI解像度設定

[ホーム] → “本機設定” → “HDMI設定” → “解像度設定”

接続したHDMI機器に応じて、HDMI解像度を設定します。

設定できる解像度は以下の表のとおりです:

| “解像度設定” | 再生する映像 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 480i/60 | 720p/60 | 1080i/60 | 720p/24 | 1080p/24 |
| “自動” | 接続したHDMI機器によって、HDMI映像解像度を自動で設定します。 | | | | |
| “480p” | 480p/60 | 480p/60 | 480p/60 | 480p/60 | 480p/60 |
| “720p” | 720p/60 | 720p/60 | 720p/60 | 720p/60 | 720p/60 |
| “1080i” | 1080i/60 | 1080i/60 | 1080i/60 | 1080i/60 | 1080i/60 |
| “1080p” | 1080p/60 | 1080p/60 | 1080p/60 | 1080p/60 | 1080p/60 |
| “1080p/24” | 1080p/60 | 1080p/60 | 1080p/60 | 1080p/60 | 1080p/24 |

### お知らせ

- HDMI解像度は**[HDMI]**を押すことで“480p”から“1080p/24”まで切り換えられます。
- 再生を行っているときに、“解像度設定”の設定を切り換えたり、入力を切り換えるなどの操作を行うと、音声・映像が一時途切れることがあります。
- 映像出力端子からは480i/60しか出力されません。
- HDMI出力端子から1080プログレッシブ24フレームで出力または3Dで出力している場合、映像出力端子から映像信号は出力されません。
- お持ちのテレビが1080プログレッシブ24フレームに対応している場合は、HDMIケーブルを使用して接続し、“解像度設定”を“1080p/24”または“自動”に設定すると、1080プログレッシブ24フレームとしてフィルム素材（1秒間に24フレームで撮影）を記録したディスクで高品質でより自然に近い映像を楽しむことができます。
- お持ちのテレビが1080プログレッシブ24フレームに対応していて“解像度設定”を“1080p/24”または“自動”に設定している場合でも、ディスクが1080プログレッシブ24フレームに対応してない場合やAVCHDでは、24フレームの映像は60フレームで出力されます。
- 選択した出力解像度は接続した機器でも対応している必要があります。詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機をHDMI-DVI機器とHDMI-DVIケーブルで接続している場合、“解像度設定”を“自動”に設定していても“480p”で出力されます
- お使いのテレビがHDCP非対応の場合、映像が正しく出力されない場合があります。
- HDMI端子からの音声信号（サンプリング周波数、チャンネル数、ビット長など）は、接続する機器により制限されることがあります。
- プロジェクターなどのHDMI対応モニターによっては、音声信号入力に対応していない場合があります。そのような機器と本機を接続した場合は、HDMI出力端子から音声信号は出力されません。
- 本機とDVI-D対応機器(HDCP対応機器）をHDMI-DVIケーブルを用いて接続している場合、デジタルRGB信号が出力されます。
- ブルーレイ3D™ディスクを再生しているとき、出力映像のビデオ解像度はディスクのコンテンツによって変わります。（“解像度設定”での設定はブルーレイ3D™ディスクには適用されません。）

## 9.4　視聴制限設定

パスワード設定することでお子様などに見せたくない成人向けのBDビデオ、DVDビデオの再生を制限（禁止）します。設定したレーティングを超えるディスクを再生した場合は再生を停止し、再生を行うにはパスワードを入力し、設定の解除が必要となります。

**1.　数字ボタン[0～9]で４桁のパスワードを入力する**

初めて視聴制限を設定する場合: 4737以外の４桁の数字を数字ボタン[0～9]で入力し、パスワードを設定する（※この数字がパスワードとして設定されますので、忘れないように必ずメモを取っておいてください。）

- パスワードをお忘れの場合は、数字ボタンの[4]、[7]、[3]、[7]を押してください。
- パスワードがリセットされ、視聴制限設定は初期設定に戻ります。
- パスワードの入力を間違えた場合は、[クリア]を押すと再入力できます。

### ■　BD視聴制限

[ホーム]　→　“本機設定”　→　“再生設定”　→　“BD視聴制限”

1. **“BD視聴制限”を選び[決定]を押すと、パスワード入力画面が表示されるので、数字ボタン[0～9]で４桁のパスワードを入力する**
2. **“視聴可能年齢設定”を選び、[決定]を押す**
3. **数字ボタン[0～9]で視聴可能年齢を設定する**
   (例：6歳以下の視聴制限があるBDビデオを再生不可にする場合、数字ボタンの[6]を押します。
   17歳以下の場合は、数字ボタンの[1]、[7]を押します。)
   - 年齢制限を設定しない場合は、“切”を選び、[決定]を押してください。
4. **[ホーム]を押し、設定を完了する**

### ■　DVD視聴制限

[ホーム]　→　“本機設定”　→　“再生設定”　→　“DVD視聴制限”

1. **“DVD視聴制限”を選び[決定]を押すと、パスワード入力画面が表示されるので、数字ボタン[0～9]で４桁のパスワードを入力する**
2. **視聴制限レベルを選び、[決定]を押す**
3. **[ホーム]を押し、設定を完了する**

| 視聴制限レベルの説明 | |
|---|---|
| 切 | :制限なく、すべてのディスクの視聴ができます。 |
| レベル8 | :年齢に関係なく視聴ができます。 |
| レベル7 | :18歳未満のお子様は視聴できません。 |
| レベル6 | :18歳未満のお子様が視聴するには保護者の指導が必要です。 |
| レベル5 | :保護者同伴での視聴を推奨します。 |
| レベル4 | :13歳未満のお子様の視聴には不適切なコンテンツが含まれています。 |
| レベル3 | :保護者の方の判断による視聴を提案します。 |
| レベル2 | :一般的に視聴できる内容です。 |
| レベル1 | :お子様が視聴されても問題のない内容です。 |

### ■ パスワードの変更

| [ホーム] → "本機設定" → "再生設定" → "パスワード変更" |
|---|

1. **"パスワード変更"を選び[決定]を押すと、パスワード入力画面が表示されるので、数字ボタン[0〜9]で現在の４桁のパスワードを入力する**
2. **数字ボタン[0〜9]で４桁の新しいパスワードを入力する**
3. **確認のため、手順2.のパスワードを再度入力する**
4. **"OK"を選び、[決定]を押す**
5. **[ホーム]を押し、設定を完了する**

### 一時的に視聴制限を解除する

ディスクによっては一時的に視聴制限を解除できるものもあります。そのようなディスクでは再生しようとすると、パスワードの入力を求められますので、画面の指示に従ってください。

## 9.5 ソフトウェア更新

| [ホーム] → "本機設定" → "その他設定" → "ソフトウェア更新" |
|---|

インターネットでダウンロードした最新のソフトウェアを書き込んだディスクやUSBメモリーを使用し、本機のソフトウェアのバージョンを更新します。 ディスクやUSBメモリーに最新のソフトウェアを書き込むには、下記のサイトから最新のソフトウェアをパソコンへダウンロードしてから、ディスクに記録するかUSBメモリーにコピーしてください。

- 必ず未記録のディスクかUSBメモリーを使用してください。

ファームウェアの更新情報およびダウンロードは http://kadenfan.hitachi.co.jp/ で確認してください。

### ■ ディスク / USBメモリーを使ったソフトウェアの更新

最新のソフトウェアが書き込まれたディスクやUSBメモリーを用意してください。

1. **"ソフトウェア更新"を選び[決定]を押す**
2. **"ディスク"か"USB"を選び、[決定]を押す**
3. **"はい"を選び、[決定]を押す**
   - 手順2.で"ディスク"を選んだ場合は、トレイが自動的に開きます。
4. **最新のソフトウェアが書き込まれたディスクやUSBメモリーを入れる**
5. **確認画面が表示されるので、"はい"を選び[決定]を押す**
   - 更新が完了するまで、数分かかることがあります。
6. **更新完了後、本機は自動的に再起動するので、ディスクやUSBメモリーを取り出す**

### ご注意

- 更新実行中は、電源プラグを抜いたり、ディスクやUSBメモリーを取り出したり、本機をスタンバイ状態にしないでください。

### お知らせ

- ソフトウェアを更新しても、本機の設定内容は変わりません。

## 9.6　バージョン情報

| [ホーム] → “本機設定” → “その他設定” → “バージョン情報” |
|---|

“バージョン情報”を選び**[決定]**を押すと、現在のソフトウェアのバージョンを確認できます。

## 9.7　初期化

| [ホーム] → “本機設定” → “その他設定” → “初期化” |
|---|

本機の設定を初期設定に戻すときや、USBメモリーのフォーマット（初期化）などを行います。

**1.　“初期化”を選び[決定]を押すと、選択画面が表示されます**

**2.　初期化する項目を選び、[決定]を押す**

| 初期化する項目 | 説明 |
|---|---|
| “設定初期化” | 視聴制限設定、“ネットワーク設定”を除く全ての本機設定を初期化します。 |
| “USB初期化”<br>(本機にUSBメモリーが挿入されている場合のみ有効) | 本機に挿入しているUSBメモリーをフォーマットします。 |
| “(本機) BDデータ消去” | BDビデオの再生時に使用されるメモリーデータ（本機）を消去します。 |
| “(USB) BDデータ消去"<br>(本機にUSBメモリーが挿入されている場合のみ有効) | BDビデオの再生時に使用されるメモリーデータ（USBメモリー）を消去します。 |
| “ネットワーク設定” | ネットワーク設定をすべて初期設定に戻します。 |

3.　**“はい”を選び、[決定]を押す**

**4.　確認画面が表示されるので、“はい”を選び、[決定]を押す**

**5.　[ホーム]を押し、設定を完了する**

### お知らせ

- “USB初期化”、“(USB) BDデータ消去”はブルーレイディスク™が本機に入っている場合は選択できません。

# 10. 故障かな？と思ったときは

| 症状 | 原因と対応のしかた |
|---|---|
| 電源が入らない | 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 |
| | １度電源プラグをコンセントから抜き、５～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。 |
| 映像が映らない、または音声が出ない | テレビの電源が入っているか確認してください。 |
| | 接続をしている機器やスピーカーの接続を確認してください。 |
| | 本機を接続したテレビやAVアンプなどはHDCPに対応していますか。HDCPに対応していない機器を接続した場合は、正常に映像が出力されません。（詳しくは、お手持ちのテレビやAVアンプの取扱説明書をご覧ください。） |
| | 映像または音声出力の選択が正しく行われているか確認してください。 |
| | HDMIの出力設定を初期値に戻すには、ディスクが入っていない状態で本体の[▶再生]を5秒間長押ししてください。 |
| リモコンで操作できない | リモコン受光部から離れたところから操作していませんか。 |
| | リモコンを受光部に向けて操作してください。 |
| | ⊕ ⊖を確かめて正しく乾電池を入れてください。 |
| | 新しい乾電池に交換してください。 |
| HDMIケーブルでつないでいるときに、映像が映らない、または音声が出ない | 本機が不正なモニター機器などに接続されている場合、映像や音声が出力されないことがあります。 |
| | 電源を入れたまま、HDMIケーブルをテレビと本機から抜き挿ししてみてください。 |
| | HDMIロゴ（HDMI®）の表示があるケーブルをお使いください。 |
| ハイビジョン画質で見ることができない | その映像はハイビジョンで撮影された映像ですか。ハイビジョンで撮影された映像でなければ、ハイビジョン画質で視聴することはできません。 |
| | お使いのテレビがハイビジョンに対応しているか確認してください。ハイビジョンを楽しむには、テレビもハイビジョン対応でなければなりません。 |
| 3D映像を見ることができない | お使いのテレビが3Dに対応しているか確認してください。 |
| | 3D映像をお楽しみいただけるサイドバイサイド(2画面構成)などの放送を記録したディスクは、テレビ側の設定に従って再生されます。 |
| | High Speed対応のHDMIケーブルをお使いください。 |
| | “3D出力設定”を“自動”にしてください。（☞ 44 ページ） |
| | 3Dメガネをかけてください。またメガネの電源が「入」になっていることを確認してください。 |
| | 3Dメガネの電池を確認してください。 |
| | 3Dテレビの取扱説明書もお読みください。 |
| テレビのスピーカーから音が出ない | 音量を上げてみてください。 |
| | テレビのスピーカー設定が「入」になっているか確認してください。 |
| アンプなどから音が出ない | アンプなどの電源が入っているか確認してください。 |
| | アンプなどで、正しい外部入力が選ばれているか確認してください。 |
| | 音量を上げてみてください。 |

| 症状 | 原因と対応のしかた |
| --- | --- |
| 映像が乱れる | 早送り/早戻しをした直後などに、多少画像が乱れることがありますが、故障ではありません。 |
| | 本機の映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピーガード機能によって正常な映像にならないことがあります。 |
| 音声が出ない、または乱れる | 音量を調節してください。 |
| | スピーカーは正しく接続されていますか。 |
| | HDMIケーブルの接続を確認してください。 |
| | “音声出力設定”（☞ 44 ページ）の設定をお確かめください。 |
| 再生中に一瞬画像が止まる | ディスクにキズがあったり、指紋などで汚れている場合は、正常に再生できない場合があります。ディスクを清掃したり、キズのないディスクと取り替えて再生してください。 |
| | ディスクに記録されたデータに問題がある可能性があります。 |
| ディスクが再生できない | 本機が対応していないディスクや、異なるリージョンコードのディスクが入っていないか確認してください。（対応しているリージョンコード：BDビデオは「A」、DVDビデオは「２」または「ALL」） |
| | ディスクを清掃してください。 |
| | ディスクの印刷されている面を上にして正しく入れ直してください。 |
| | ほかのディスクで再生できるかお確かめください。ほかのディスクで再生ができる場合、ディスクに不具合がある可能性があります。 |
| | 視聴制限を解除するか、“視聴制限設定”（☞ 51 ページ）を変更してください。 |
| | 再生できないディスクが入っていませんか。 |
| USBメモリーが認識されない | 本機が対応しているフォーマットか確認してください。（☞ 26 ページ） |
| ディスクに入ったJPEGファイルが再生できない | ディスクがUDF、 ISO9660またはJOLIETフォーマットで記録されたものであるか確認してください。 |
| ディスクを取り出しても通常の画面に戻らない | 本体の[⏻ **電源**]を10秒以上長押しして本機をリセットするか、 1度電源プラグをコンセントから抜き、 5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。 |
| 画面の右上に ⊘ が表示される | ディスクによって禁止されている操作です。 |
| ボタン操作ができない、または本機が反応しない | 本体の[⏻ **電源**]を10秒以上長押しして本機をリセットするか、 1度電源プラグをコンセントから抜き、 5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。 |
| 再生中に操作ができない. | ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。<br>ディスクの取扱説明書をお読みください。 |
| 再生可能ディスクが読み込まれない | 本機内部で結露が発生している可能性があります。<br>電源プラグを抜いて、本体内部を乾かしてください。 |
| | ”再生できるディスクとファイル”（☞ 25 ページ）に記載しているディスクかお確かめください。 |
| | ディスクを清掃してください。 |
| アングルを変更できない | 複数のアングルが記録されていないBDビデオまたはDVDビデオは、アングルを切り換えられません。 また、特定の場面のみ複数のアングルが記録されているものがあります。 |
| タイトルを選択しても再生が始まらない | “視聴制限設定”（☞ 51 ページ）の設定を確認してください。 |

| 症状 | 原因と対応のしかた |
|---|---|
| 視聴制限で設定したパスワードを忘れた | パスワード入力画面で[4]、[7]、[3]、[7]を入力すると、登録されていたパスワードが消去されます。新たなパスワードを設定し直してください。（☞ 51ページ） |
| JPEGファイルが見つからない | 選択しているグループ（フォルダ）に、制限を超えた数のファイルが入っていませんか。ブルーレイディスク™ / DVD / USBメモリーなら9,999ファイル、CDなら999ファイルが上限です。 |
| | “.jpg”、“.JPG”、“.jpeg”または“.JPEG”以外の拡張子が使われていないか確認してください。 |
| AVCHDファイルが再生できない | 本機はDVDに記録されたAVCHDファイル（*.m2ts, *.mts or *.m2t）を単体で再生することはできません。 ファイルとフォルダの相対関係がAVCHDの仕様に沿った構造をしていなくてはなりません。<br>AVCHDファイルをDVDやSDメモリーカードなどに記録するには、必ずAVCHDに対応した機器/ソフトウェアを使用してください。（詳しくは、機器/ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。） |
| ネットワーク接続ができない | LANケーブルの接続は正しくできていますか。 |
| | モデムまたはルーターの電源は入っていますか。 |
| | ネットワーク設定は正しくできていますか。 |
| | モデムまたはルーターの接続は正しくできていますか。 |
| | LANケーブルを使ってモデムに直接繋いでいる場合、モデムの設定をリセットするために、モデムの電源を一度切って入れなおしてみてください。 |
| パソコンでインターネット接続中に本機がネットワークにつながらない | お使いのインターネットサービスのご契約内容を確認し、複数の端末からの同時接続がプロバイダーで禁止されていないか確認してください。 |
| USBメモリーの容量が減少した | バーチャルパッケージ対応のBDビデオが使われているときに、USBメモリーが挿入されていると、USBメモリーの容量が減少する場合があります。 |
| USBメモリーに記録されたMPEG-2の映像/音声が再生されない | このモデルはMPEG-2には対応していません。 |
| USBメモリーのコンテンツが認識されない | コンテンツが壊れている可能性があります。 |
| | 一度電源を切り、再び電源を入れてください。 |
| BD-Live™機能が使えない。またはデータのダウンロードが正しく行われない | 充分な空き容量（１GB以上）があるUSBメモリーを入れてください。 |
| | USBメモリーが正しく入っているか確認してください。 |
| ディスクが取り出せない | １度電源プラグをコンセントから抜き、５～10秒後に再びコンセントに差し込み、本機の[▲ **開閉**]を押してください。 |

## お知らせ

- お客様による修理は危険ですからお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
- 修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて販売店が修理させていただきます。

# 11. 言語コード一覧

| 言語名（順不同） | 言語コード |
|---|---|
| アファル語 | 4747 |
| アブバジア語 | 4748 |
| アフリカーンス語 | 4752 |
| アムハラ語 | 4759 |
| アラビア語 | 4764 |
| アッサム語 | 4765 |
| アイマラ語 | 4771 |
| アゼルバイジャン語 | 4772 |
| バジキール語 | 4847 |
| ベラルーシ語 | 4851 |
| ブルガリア語※ | 4853 |
| ビハーリー語 | 4854 |
| ビスラマ語 | 4855 |
| ベンガル語、バングラ語 | 4860 |
| チベット語 | 4861 |
| ブルトン語 | 4864 |
| カタロニア語 | 4947 |
| コルシカ語 | 4961 |
| チェコ語※ | 4965 |
| ウェールズ語 | 4971 |
| デンマーク語※ | 5047 |
| ドイツ語※ | 5051 |
| ブータン語 | 5072 |
| ギリシャ語※ | 5158 |
| 英語※ | 5160 |
| エスペラント語 | 5161 |
| スペイン語※ | 5165 |
| エストニア語 | 5166 |
| バスク語 | 5167 |
| ペルシャ語 | 5247 |
| フィンランド語※ | 5255 |
| フィジー語 | 5256 |
| フェロー語 | 5261 |
| フランス語※ | 5264 |

| 言語名（順不同） | 言語コード |
|---|---|
| フリジア語 | 5271 |
| アイルランド語※ | 5347 |
| スコットランドゲール語 | 5350 |
| ガルシア語 | 5358 |
| グアラニ語 | 5360 |
| グジャラート語 | 5367 |
| ハウサ語 | 5447 |
| ヒンディ語 | 5455 |
| クロアチア語 | 5464 |
| ハンガリー語※ | 5467 |
| アルメニア語 | 5471 |
| 国際語 | 5547 |
| 国際語 | 5551 |
| イヌピック語 | 5557 |
| インドネシア語 | 5560 |
| アイスランド語※ | 5565 |
| イタリア語※ | 5566 |
| ヘブライ語 | 5569 |
| 日本語※ | 5647 |
| イディッシュ語 | 5655 |
| ジャワ語 | 5669 |
| グルジア語 | 5747 |
| カザフ語 | 5757 |
| グリーンランド語 | 5758 |
| カンボジア語 | 5759 |
| カンナダ語 | 5760 |
| 韓国語※ | 5761 |
| カシミール語 | 5765 |
| クルド語 | 5767 |
| キルギス語 | 5771 |
| ラテン語 | 5847 |
| リンガラ語 | 5860 |
| ラオス語 | 5861 |
| リトアニア語 | 5866 |

| 言語名（順不同） | 言語コード |
|---|---|
| ラトビア語、レット語 | 5868 |
| マダガスカル語 | 5953 |
| マオリ語 | 5955 |
| マケドニア語 | 5957 |
| マラヤーラム語 | 5958 |
| モンゴル語 | 5960 |
| モルダビア語 | 5961 |
| マラータ語 | 5964 |
| マレー語 | 5965 |
| マルタ語 | 5966 |
| ミャンマー語 | 5971 |
| ナウル語 | 6047 |
| ネパール語 | 6051 |
| オランダ語※ | 6058 |
| ノルウェー語※ | 6061 |
| プロバンス語 | 6149 |
| アファン語、オロモ語 | 6159 |
| オリヤー語 | 6164 |
| パンジャブ語 | 6247 |
| ポーランド語※ | 6258 |
| パシュトー語 | 6265 |
| ポルトガル語※ | 6266 |
| ケチュア語 | 6367 |
| ラエティ=ロマン語 | 6459 |
| キルンディ語 | 6460 |
| ルーマニア語※ | 6461 |
| ロシア語※ | 6467 |
| キニャルワンダ語 | 6469 |
| サンスクリット語 | 6547 |
| シンド語 | 6550 |
| サンゴ語 | 6553 |
| セルビアクロアチア語 | 6554 |
| シンハラ語 | 6555 |
| スロバキア語※ | 6557 |

| 言語名（順不同） | 言語コード |
|---|---|
| スロベニア語 | 6558 |
| サモア語 | 6559 |
| ショナ語 | 6560 |
| ソマリ語 | 6561 |
| アルバニア語 | 6563 |
| セルビア語 | 6564 |
| シスワティ語 | 6565 |
| セストゥ語 | 6566 |
| スンダ語 | 6567 |
| スウェーデン語※ | 6568 |
| スワヒリ語 | 6569 |
| タミール語 | 6647 |
| テルグ語 | 6651 |
| タジク語 | 6653 |
| タイ語 | 6654 |
| ティグリニャ語 | 6655 |
| トゥルクメン語 | 6657 |
| タガログ語 | 6658 |
| セツワナ語 | 6660 |
| トンガ語 | 6661 |
| トルコ語※ | 6664 |
| ツォンガ語 | 6665 |
| タタール語 | 6666 |
| トウィ語 | 6669 |
| ウクライナ語 | 6757 |
| ウルドゥ語 | 6764 |
| ウズベク語 | 6772 |
| ベトナム語 | 6855 |
| ボラピュク語 | 6861 |
| ウォロフ語 | 6961 |
| コーサ語 | 7054 |
| ヨルバ語 | 7161 |
| 中国語※ | 7254 |
| ズール語 | 7267 |

# 12. 仕様

| 一般 | |
|---|---|
| 信号方式 | NTSC方式 |
| 電源 | AC 100 V, 50/60 Hz |
| 消費電力 | 12 W (待機時: 0.7 W) |
| 外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行) | 435 (幅)×40 (高さ)×222 (奥行)mm（突起部含む） |
| 質量 | 約1.9kg（梱包含まず） |
| 許容動作温度 | 5 ℃～35℃ |
| 許容湿度 | 80%以下 |

| 端子部 | | |
|---|---|---|
| USB端子 | 1 系統（前面） | |
| 映像出力端子 | Y出力レベル： | 1.0Vp-p（75Ω） |
| | 出力端子： | ピンジャック 1 系統 |
| HDMI出力端子 | Type A端子（19ピン）1 系統 | |
| 音声出力端子 | 出力レベル： | 2.0Vrms（1.0kΩ） |
| | 出力端子： | ピンジャック 1 系統 |
| 光デジタル音声出力端子 | 光コネクター角型光ジャック 1 系統 | |
| 同軸デジタル音声出力端子 | ピンジャック 1 系統 0.5Vp-p（75Ω） | |
| LAN端子 | 1 系統（10BASE-T/100BASE-TX） | |

### お知らせ

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# 13. 3Dテレビ視聴時における健康と安全に関する重要なお知らせ

3D映像をお楽しみになる前に以下の注意事項をよくお読みください。

## 警告:

1. 人によってはテレビやビデオゲーム映像で使用されている光や映像の点滅を見ると、てんかんの発作や脳卒中を起こす場合があります。ご本人やご家族の中にこれらの病歴をお持ちの方がおられる場合は、3Dテレビをご視聴になる前に医師にご相談ください。
2. 以下に該当する方は3Dテレビをご視聴にならないでください：
妊婦の方、年配の方、睡眠不足の方、なんらかの深刻な疾患を患っておられる方、体調不良の方、飲酒中の方。
3. テレビを長時間近くで視聴すると視力が低下することがあります。テレビからの理想的な距離は目の高さで、テレビの高さの3倍離れたところです。
4. 3Dメガネを3D映像視聴以外の目的で使用すると、身体に害を及ぼしたり視力を低下させる恐れがあります。
5. 3D映像を見て気分が悪くなった場合は、状態が改善するまでは車の運転や過度な運動はご遠慮ください。状態が改善しない場合は3Dテレビの視聴を停止し、医師にご相談ください。

## 注意:

1. 蛍光灯のあかりの下で視聴すると、ちらつきが感じられる場合があります。また、直射日光は3Dメガネの操作性を妨げる恐れがあります。
2. 階段のそばやベランダ、その他障害物がある場所でのご使用はお控えください。人によってはふらつきを覚え、転倒する恐れがあります。
3. 下記の症状がみられた場合はただちに使用を中止し、医師にご相談ください。
(1)視界の歪み (2)立ちくらみ (3)めまい (4)目や筋肉のケイレンといった異常運動 (5)錯乱 (6)むかつき(7)意識喪失 (8)ひきつけ (9)痛みを伴ったケイレン (10)方向感覚の喪失
4. 成人よりも小さいお子様や十代のお子様の方が影響を受けやすいため、保護者の方はお子様に上記症状が見られないか十分にご注意ください。特に6歳以下のお子様は視聴いただかないようお願い致します。
5. 3D映像を長時間視聴すると、不快感、めまい、眼精疲労、頭痛や方向感覚の喪失を起こす場合があります。
6. 3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止し、適度な休憩をとってください。

# 14. 用語解説

## AAC

Advanced Audio Codingの略で、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD並の音質データを約１/12にまで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

## AACS

Advanced Access Content Systemの略で、ブルーレイディスク™で採用されている著作権保護技術です。

## AVCHD

AVCHDは、ビデオカメラで撮影した高精細なハイビジョン映像を８cmDVD記録用ディスクまたはSDメモリーカード上に記録できる、新しいフォーマットの名称です。

## AVCREC™

AVCREC™は、ハイビジョン映像をDVDに記録するための規格の名称です。

## BD-J （Java）（ビーディージェイ）

BDビデオでは、Javaアプリケーションを利用した、よりインタラクティブな機能（ゲームなど）を楽しめるソフトがあります。

## BD-Live™

BD-Live™は、BDビデオ（BD-ROMプロファイル2.0）の新しい再生機能で、インターネットに接続し、追加映像や追加字幕のダウンロード、BD-Jによる通信対応ゲームなどのインタラクティブな機能を利用できます。

## DNSサーバー

DNSサーバーは、インターネット上でドメインネームからIPアドレスを調べる機能を持ったサーバーです。

## DTS® (ディーティーエス)

Digital Theater Systemの略で、DTS社が開発した、デジタル音声システムです。DTS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

## DTS-HD®（ディーティーエスエイチディー）

ブルーレイディスク™のオプション音声として採用された、従来のDTS®をさらに高音質・高機能化したデジタル音声技術です。多チャンネル、高データ転送速度、高サンプリング周波数や、ロスレス・オーディオ再生をサポートしています。ブルーレイディスク™では、最大7.1チャンネルまで対応しています。

## HDCP（エイチディーシーピー）

機器間でデジタル信号を送受信する際に、信号を暗号化し、コンテンツが不正にコピーされるのを防止する著作権保護技術の一つです。

## HDMI（エイチディーエムアイ）

High-Definition Multimedia Interfaceの略で、ブルーレイディスク™/DVDレコーダーやブルーレイディスク™/DVDプレーヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェースです。映像信号と音声信号を１本のケーブルで接続できます。

## IPアドレス

IPアドレスは、ネットワークに接続された機器を識別する番号のことです。

## JPEG

Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の一つです。データサイズを小さくできるので、広く使われています。

## LAN （Local Area Network）

一定範囲内（会社や学校、家庭内等）のネットワークのことです。

## LPCM （リニアPCM）

PCMはPulse Code Modulationの略で、LPCMはデジタル音声をそのまま圧縮せずに記録する方式です。

## MPEG（エムペグ）

Moving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。ブルーレイディスク™やDVDの映像は、この方式で記録されています。

## アスペクト比

テレビ画面の縦横比率です。従来の標準テレビ画面の比率は4：3で、ワイドスクリーンテレビの画面の比率は16：9です。

## インタラクティブオーディオ

BDビデオのタイトルなどに収録されている、操作しているときのクリック音などの音声です。

## インデペンデントサブストリーム

ドルビーデジタルプラスの基本となる部分（5.1ch部分）の音声です。

## ゲートウェイアドレス

インターネットアクセスする際に使用する機器（ルーター等）のIPアドレスのことをいいます。

## コアサブストリーム

DTS-HD®の基本となる部分(5.1ch部分)の音声です。

## コピーガード

複製防止機能のことです。著作権保護のため、著作権者などによって複製を制限する信号が記録されています。

## コンテンツタイプ

設定メニューで“コンテンツタイプ”が“入”に設定されていて、接続先の機器がコンテンツタイプ機能に対応している場合、本機は接続先機器に対して再生コンテンツのコンテンツ情報(1080p/24映像や静止画像)を送信します。

## サブネットマスク

ルーターにつなぐ機器のIPアドレスを絞りこむための数字です。

## タイトル

BDビデオやDVDビデオに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名（タイトル）などをいいます。

## ダウンミックス

サラウンド音声のチャンネル数を、より少ないチャンネル数に変換して再生する機能です。

## チャプター

タイトルの中にある小さな区切りを「チャプター」といいます。

## トラック

音楽用CDの各曲ごとの区切りのことを「トラック」といいます。

## ドルビーTrueHD

ブルーレイディスク™のオプション音声として採用されたロスレス符号化技術で、7.1チャンネルに対応しています。

## ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

## ドルビーデジタルサブストリーム

ドルビーTrueHDの基本となる部分(5.1ch部分)の音声です。

## ドルビーデジタルプラス

ドルビーデジタルの拡張版で、ブルーレイディスク™のオプション音声として採用された高音質デジタル音声技術です。

## ビットストリーム

圧縮されてデジタル信号に置き換えられた信号のことで、対応しているアンプなどによってそれぞれに合った信号に変換されます。

## ファイナライズ

レコーダーで録画したDVD-RW、DVD-Rを、ほかのDVDプレーヤーなどで再生できるようにする機能です。

## ブルーレイディスク™

片面１層のディスクで25GB、または片面2層で50GBの容量を持つハイビジョン映像の映画やゲームなどの記録に対応したディスクです。

## プレイリスト

オリジナルの映像とは別に編集用に作成された映像のことで、オリジナルの映像のお好みのシーンを順番に再生することができます。

## マルチボーダー（マルチセッション）

データの開始と終わりを表すデータ部分のことを「ボーダー（セッション）」と呼びます。マルチボーダーとは、1枚のディスクに追記などによって、データの開始と終わりを表すボーダー（セッション）が複数ある状態を言います。

## リージョンコード

BDビデオやDVDビデオを再生できる国や地域を示すコードです。本機では、BDビデオのリージョンコードは「A」、DVDビデオのリージョンコードは「２」または「ALL」のビデオソフトを再生することができます。

## ルーター

複数の機器が接続されているネットワークにおいて、各機器のIPアドレスを判別し、相互通信するためのネットワーク機器のことです。

# 15. ソフトウェアライセンス情報

日立ブルーレイディスクプレーヤーは、米国「Free Software Foundation, Inc.が定めたGNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2及びGUN LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (以下「ソフトウェア使用許諾契約書」といいます。) に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュールに関しては、下記表を参照してください。また、対象となるソフトウェアモジュールに関するお問い合わせについては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス　http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/toiawase.html#03

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、

ホーム画面の”本機設定”→”その他設定”→”ライセンス情報”に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。（日立以外の第三者による規定であるため、原文 (英文）を掲載いたします。）

当該ソフトウェアモジュールについては、日立以外に、別途著作権者その他の権利を有するものがおり、かつ、無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証（明示するもの、しないものを問いません。）をしないものとします。また、当社は、当該ソフトウェアモジュール及びその使用に関して生じたいかなる損害（データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインターフェースの不適合化等も含まれます。）についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

| 対象ソフトウェアモジュール | 関連ソフトウェア使用許諾契約書 |
|---|---|
| findutils<br>linux<br>module-init-tools<br>mount<br>mtd<br>nettools<br>sash<br>sysfsutils<br>GMP<br>autofs | GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 |
| directfb<br>glibc<br>Qt | GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 |

# お客様ご相談窓口

## 日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

**ホームページに「よくあるご質問」について掲載しておりますので、ご活用ください。**
**http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html**

**商品情報やお取り扱いについての**
**ご相談はお客様相談センターへ**

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

受付時間 9:00~17:30 (月～土)
9:00~17:00 (日、祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

**修理などアフターサービスに関する**
**ご相談はエコーセンターへ**

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

受付時間 9:00~19:00 (365日)
※年末年始およびゴールデンウィーク等は受付時間を変更させていただく場合があります。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

| 保証期間中は | 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の記載内容にもとづいて修理させていただきます。 |
|---|---|
| 保証期間が過ぎているときは | 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。 |
| 保証期間 | お買い上げ日から1年です。 |

●「持込修理」および「部品購入」については、上記エコーセンターまたはお客様相談センターにて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
●火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）による故障および損傷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

# 保証とアフターサービス

**保証書（別添）**

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

**保証期間…お買い上げ日から1年です。**

**補修用性能部品の保有期間**

ブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

**ご不明な点や修理に関するご相談は**

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（持込修理）
54〜56ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

## 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて販売店が修理させていただきます。

| ご連絡していただきたい内容 | |
|---|---|
| 品名 | ブルーレイディスクプレーヤー |
| 型式 | （ブルーレイディスクプレーヤー） DVL-BPT3000<br>（リモコン） DVL-RMBPT3000 |
| お買い上げ日 | 年 月 日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| ご住所 | 付近の目印なども合わせてお知らせください。 |
| お名前 | |
| 電話番号 | |
| 訪問ご希望日 | |

## 保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

| 修理料金の仕組み | |
|---|---|
| 技術料 | 診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備、一般管理費などが含まれてます。 |
| ＋ | |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。 |
| ＋ | |
| 出張料 | 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。 |

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

| ご購入店名 | ご購入年月日 |
|---|---|
| | |

長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤーの点検をぜひ！・・・・・・
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全を損なって事故につながることもあります。

**このような症状はありませんか。**

- 電源スイッチを入れても映像や音がでない。
- 変なにおいがしたり、煙がでたりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

**ご使用中止**

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

**株式会社　日立リビングサプライ**

〒162-0814　東京都新宿区新小川町6-29　アクロポリス東京

TEL.　(03)　3260-9611

FAX.　(03)　3260-9739

Printed in China
ECCC0JD
1VMN31434 ★★★★★